

基本理念 1 ひとづくり

学び合い育ち合う

みんなの笑顔がきらめく

ひとづくり

政策目標	1	次世代の成長を喜び合えるまち（こども育成部）
政策目標	2	次世代をはぐくむ教育力に富んだまち（教育推進部）
政策目標	3	次代に向かって教育環境ゆたかなまち（教育総務部）
政策目標	4	多様な機会に学び、活動し、交流する、豊かな感性をはぐくむまち（文化生涯学習部）

政策目標

1

次世代の成長を喜び合えるまち
(こども育成部)

目指すべき将来像

初めての子育てでも安心できるサポート体制ができている
子育てを支え合える地域社会の仕組みができている
子どもを産み育てやすい環境が整い、子どもの総数が増えている
多様なニーズに合わせた保育サービスが提供されている
妊娠期、出産期、乳幼児期の環境に応じて、子どもと保護者の健康が守られている

政策目標における 3 年間の目指すべき方向性

茅ヶ崎市の人口は、平成 32 年までは増加すると予想されますが、0 歳から 14 歳までの年少人口も、現状では微増傾向にあります。平成 27 年 3 月に策定した子ども・子育て支援事業計画を着実に推進していくことで、地域社会で子育てを支え合い、多くの子どもたちが生き生きと成長できるように支援します。

合計特殊出生率は、全国平均よりも低い状況にあります。子育て世帯の経済的負担の軽減や充実した母子保健対策、子育て支援施策などにより子どもを産み育てやすい環境を整備し、合計特殊出生率の向上を図ります。

保育園待機児童は、依然多い状況であり、施設整備などを行いその解消を図るとともに、時間外保育や一時預かりなど保護者のニーズに対応した多様な保育サービスを提供します。

また、子育て支援センターやファミリーサポートセンターなどの活動をととして子育てのサポート体制の充実を図るとともに、母子保健訪問指導等事業や家庭児童相談室・こどもセンターが相互に連携を深めることで、孤立したり、子育てに不安を感じている保護者と子の双方を支え、安心して子育てができる環境づくりを進めます。

一般会計	事業数	概算事業費
政策的事業	63	35,266 百万円
定例・定型的事業	27	1,234 百万円
職員給与費		3,640 百万円
特別会計	事業数	概算事業費
母子父子寡婦福祉資金	1	- 百万円
職員給与費		- 百万円
一般会計・特別会計概算事業費合計	91	40,140 百万円

施策目標：1

安心して子どもを育てることを支援する（子育て支援課）

□ 施策のねらい

1 乳幼児に関する施策の充実

子どもの成長にとって乳幼児期の保護者の関わり方が重要であることを啓発するとともに、保護者のために乳幼児期の子育てについての情報や学習機会をさまざまな媒体を活用して積極的に提供するなど、乳幼児に関する施策を充実します。

2 社会全体で子育てを支援する仕組みの構築

子育てを教えてくれる人や支えてくれる人が身近におらず、孤立して不安になっている保護者と子の双方を支えるため、地域社会全体が子育てにかかわる力や助け合う力を回復して、地域の中で、子どもを安心して預けあうなど、社会全体で子育てを支援できる仕組みの拡充を図ります。

3 子育て支援の充実

妊娠期、出産期には、出産までの不安や経済的な負担を軽減するなど、子どもを産みやすい環境を整備します。乳幼児期、学齢期にはそれぞれの時期や保護者の生活形態に応じて、子育てが初めての人をはじめ、子育て中の保護者が安心して子育てができるよう支援・助成します。

4 医療費助成制度の維持

医療費助成制度（小児医療費助成・ひとり親家庭等医療費助成）を安定的に継続運営することで、対象者の健康や福祉の増進と経済的負担の軽減を図ります。

□ 施策目標における3年間の目指すべき方向性

子ども・子育て支援事業計画に基づき、妊娠期・出産期・乳幼児期・学齢期のそれぞれの時期に応じた支援事業、助成事業を、着実に実施します。

特に、子育て支援センターを拠点とした利用者支援事業の展開による一層きめ細やかな子育て支援を実施し、安心して子どもを育てることを支援します。

指標 施策目標の達成状況を把握する目安となる数値

指標名	現状値	平成30年度の目標値	指標の説明・意図
ファミリーサポートセンターの活動件数	8,887件 (平成26年度)	9,100件	子どもを預け・預かる相互協力の活動の支援を行うことで、子育て中の保護者が安心して子育てをできる支援が行われているかを測ります。 活動件数は、事業の機能強化を視野に入れ、最終年度に、26年度実績から約3%増加させることを目標としました。

第3次実施計画事業一覧表

○ 一般会計

政策的事業	16 件	定例・定型的事業	16 件	事業費（職員給与費除く）	18,079 百万円
-------	------	----------	------	--------------	------------

No.	事業の性質	施策のねらい	事業名（★…主な第3次実施計画事業として掲載している事業）	平成28～30年度の事業費
1	政策	1	★香川駅前子育て支援センター事業	63,082 千円
2	政策	3	ひとり親家庭等日常生活支援事業	1,770 千円
3	政策	3	子育てポータルサイト事業	— 千円
4	政策	3	★私立幼稚園等就園奨励費補助事業	1,125,040 千円
5	政策	3	★児童手当支給事業	12,240,270 千円
6	政策	3	★児童扶養手当支給事業	2,089,463 千円
7	政策	3	★特定不妊治療費助成事業 ◆保健所政令市関連事業	72,380 千円
8	政策	3	不育症治療費助成事業 ◆保健所政令市関連事業	2,277 千円
9	政策	3	母子家庭父子家庭高等職業訓練促進給付金等事業	47,889 千円
10	政策	3	母子家庭父子家庭自立支援教育訓練給付金事業	405 千円
11	政策	3	母子父子寡婦福祉資金貸付金に関する事業（繰出金）（中核市関連）	— 千円
12	政策	3	幼稚園への補助金に関する事務	2,980 千円
13	政策	4	★ひとり親家庭等医療費助成事業	392,183 千円
14	政策	4	育成医療給付事業	8,257 千円
15	政策	4	★小児医療費助成事業	1,802,886 千円
16	政策	4	養育医療給付事業	20,168 千円
17	定例	1	茅ヶ崎駅南口子育て支援センター事業	32,596 千円
18	定例	1	★茅ヶ崎駅北口子育て支援センター事業	46,550 千円
19	定例	1	浜竹子育て支援センター事業	29,508 千円
20	定例	2	★ファミリーサポートセンター事業	39,584 千円
21	定例	3	ひとり親家庭等福祉管理事務	7,833 千円
22	定例	3	子育てガイドブックの発行	— 千円
23	定例	3	子育て短期支援事業	12,005 千円
24	定例	3	児童福祉総務管理事務	16,522 千円
25	定例	3	地域児童福祉推進事業	3,921 千円
26	定例	3	特別児童扶養手当支給事業	— 千円
27	定例	3	母子家庭父子家庭親子ふれあい事業	3,893 千円
28	定例	3	幼稚園団体補助金に関する事務	2,563 千円
29	定例	3	幼稚園等障害児教育補助金に関する事務	13,840 千円
30	定例	-	災害応急対策活動	— 千円
31	定例	-	庁内共通事務	803 千円
32	定例	-	部内調整事務	— 千円

※事業の性質：「政策」…政策的事業・「定例」…定例・定型的事業

※中核市関連：中核市移行に伴い新たに取り組む事業。具体的な事業費については、移行に向けた準備の中で明らかにしていきます。

◆保健所政令市関連事業：保健所政令市移行に向けた準備又は移行後に保健所で実施する事業

○ 母子父子寡婦福祉資金特別会計

政策的事業	1 件	定例・定型的事業	— 件	事業費（職員給与費除く）	— 百万円
-------	-----	----------	-----	--------------	-------

No.	事業の性質	施策のねらい	事業名（★…主な第3次実施計画事業として掲載している事業）	平成28～30年度の事業費
1	政策	3	母子父子寡婦福祉資金貸付金に関する事業（中核市関連）	— 千円

※事業の性質：「政策」…政策的事業・「定例」…定例・定型的事業

※中核市関連：中核市移行に伴い新たにに取り組む事業。具体的な事業費については、移行に向けた準備の中で明らかにしていきます。

主な第3次実施計画事業

事業名		事業概要				指標・目標	
香川駅前子育て支援センター事業		・子育て情報や子育て家庭の交流のためのフリースペースを提供します。 ・子育てアドバイザーの配置等を社会福祉法人等に委託し、子育てに関する相談業務や子育て支援団体の育成・活動支援等を実施します。 ・利用者支援専門員を配置し、より専門的な子育てに関する相談・助言や子育て支援団体の活動支援等を実施します。				指標 利用者数／年	
一般会計						目標	
政策的事業	継続拡充					平成28年度 9,000人	
施策のねらい						平成29年度 9,000人	
1 乳幼児に関する施策の充実						平成30年度 9,000人	
		事業実施年度	28年度	29年度	30年度		
事業主体	市・民間	平成28～30年度の事業費	63,082 千円				
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 ■ 協働 □ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 ■ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
私立幼稚園等就園奨励費補助事業		・保護者の経済力にかかわらず、私立幼稚園等に子どもが通園できるように私立幼稚園等が保護者負担額を減免した場合、その額に相当する額を幼稚園に助成します。 ・幼稚園・幼稚園類似施設とともに国庫補助基準非対象者分及び各所得階層に応じた上乘せ分を助成します。 ※助成件数/年（平成26年度）：4,340件				指標 助成件数／年	
						目標	
						平成28年度 4,216件	
						平成29年度 3,905件	
						平成30年度 3,843件	
一般会計							
政策的事業		継続拡充					
施策のねらい							
3 子育て支援の充実							
		事業実施年度	28年度	29年度	30年度		
事業主体	市	平成28～30年度の事業費	1,125,040 千円				
政策共通認識		■ 共生社会 □ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事 業 名		事 業 概 要				指標・目標	
児童手当支給事業		・ 中学校修了までの児童を養育している方に手当を支給します。 ・ 児童手当の内容などを広報紙やホームページ、パンフレットなどで周知を行います。 ※支給件数/年（平成26年度）：60,142件				指標 支給件数/年	
一般会計						目標	
政策的事業	継続					平成28年度 60,400件	
施策のねらい						平成29年度 60,480件	
3 子育て支援の充実						平成30年度 60,560件	
		事業実施年度	28年度	29年度	30年度		
事業主体	市	平成28～30年度の事業費	12,240,270 千円				
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
児童扶養手当支給事業		・ 父母の離婚、父又は母の死亡などにより父又は母と生計を同じくしていない児童について手当を支給し、ひとり親家庭等の生活の安定を図り、自立を促進します。 ・ 制度内容の周知体制を整え、全支給対象者に支給を行います。 ※支給件数/年（平成26年度）：4,367件				指標 支給件数／年	
一般会計						目標	
政策的事業	継続					平成28年度 4,410件	
施策のねらい						平成29年度 4,460件	
3 子育て支援の充実		事業実施年度	28年度	29年度	30年度	平成30年度 4,500件	
事業主体	市	平成28～30年度の事業費		2,089,463 千円			
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標									
特定不妊治療費助成事業		・不妊に悩む夫婦が特定不妊治療を受ける際、治療費助成により経済的負担を軽減します。 ※助成件数/年（平成26年）：227件 <table><tr><th>事業実施年度</th><th>28年度</th><th>29年度</th><th>30年度</th></tr><tr><td colspan="4">平成28～30年度の事業費</td></tr></table>				事業実施年度	28年度	29年度	30年度	平成28～30年度の事業費				指標 助成件数／年	
事業実施年度	28年度					29年度	30年度								
平成28～30年度の事業費															
一般会計						目標 平成28年度 261件									
政策的事業	継続拡充					平成29年度 261件									
施策のねらい		平成30年度 261件													
3 子育て支援の充実															
事業主体	市	平成28～30年度の事業費		72,380 千円		平成30年度 261件									
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 □ 安全・安心													
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出														

事 業 名		事 業 概 要				指標・目標	
ひとり親家庭等医療費助成事業		・ひとり親家庭等の18歳未満（高等学校卒業）までの子ども及び養育者に対し、保険内診療分の医療費を公費で助成し、経済的負担を軽減することにより、生活の安定と自立を支援します。 ※助成件数/年（平成26年度）：46,743件				指標 助成件数／年	
						目標	
						平成28年度 47,600件	
						平成29年度 48,400件	
						平成30年度 48,400件	
一般会計							
政策的事業		継続					
施策のねらい							
4 医療費助成制度の維持							
		事業実施年度	28年度	29年度	30年度		
事業主体	市	平成28～30年度の事業費	392,183 千円				
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標		
小児医療費助成事業		・子どもにかかる医療費のうち、保険内診療の自己負担分について助成します。 ・入院分については中学校卒業まで助成します。 ・通院分については小学校3年生まで助成します。 ※助成件数/年（平成26年度）：294,700件				指標 助成件数／年		
一般会計						目標		
政策的事業	継続拡充					平成28年度 318,200件		
施策のねらい						平成29年度 323,900件		
4 医療費助成制度の維持						平成30年度 323,900件		
		事業実施年度	28年度	29年度	30年度			
事業主体	市	平成28～30年度の事業費		1,802,886 千円		平成30年度 323,900件		
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 □ 安全・安心						
地域	■ 全市		□ 茅ヶ崎	□ 南湖	□ 海岸	□ 鶴嶺東	□ 鶴嶺西	□ 湘南
			□ 松林	□ 湘北	□ 小和田	□ 松浪	□ 浜須賀	□ 小出

事業名		事業概要				指標・目標					
茅ヶ崎駅北口子育て支援センター事業		・子育て情報や子育て家庭の交流のためのフリースペースを提供します。 ・子育てアドバイザーの配置等を社会福祉法人等に委託し、子育てに関する相談業務や子育て支援団体の育成・活動支援等を実施します。 ※利用者数/年（平成26年度）：21,192人 <table><tr><th>事業実施年度</th><th>28年度</th><th>29年度</th><th>30年度</th></tr></table>				事業実施年度	28年度	29年度	30年度	指標 利用者数/年	
事業実施年度	28年度					29年度	30年度				
一般会計						目標					
定例・定型的事業						平成28年度 21,300人					
継続											
施策のねらい											
1 乳幼児に関する施策の充実						平成29年度 21,400人					
事業主体		市・民間		平成28～30年度の事業費		平成30年度 21,500人					
				46,550 千円							
政策共通認識		■ 共生社会 □ 環境 ■ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心									
地域	■ 全市 ■ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出										

事業名		事業概要				指標・目標	
ファミリーサポートセンター事業		・子育て家庭がゆとりを持った子育てができるよう、知識を有するアドバイザーの派遣等を社会福祉法人に委託し、相互援助活動を実施します。 ・豊かな長寿社会に向け、高齢者を含む支援会員の拡大、利用促進に向けた広報活動を実施します。 ※活動件数/年（平成26年度）：8,887件				指標 活動件数/年	
一般会計						目標 平成28年度 8,900件	
定例・定型の事業	継続					平成29年度 9,000件	
施策のねらい						平成30年度 9,100件	
2 社会全体で子育てを支援する仕組みの構築		事業実施年度	28年度	29年度	30年度		
事業主体	市・民間	平成28～30年度の事業費	39,584 千円			平成30年度 9,100件	
政策共通認識		■ 共生社会 □ 環境 ■ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

施策目標：2

ニーズに合った多様な保育を行う（保育課）

施策のねらい

- 待機児童対策の推進
認可保育園の施設整備と認可外保育施設の認可化移行促進による定員増や、小規模保育事業などの整備を行い、入園待機児童の解消を図ります。
- 小学生の放課後支援の充実
保護者の多様な就労形態やニーズに対応可能な児童クラブの環境を整え、保護者が労働などで昼間家庭にいない小学生の放課後の健全育成を図ります。
- 保育サービスの質の向上
保護者の多様な就労形態や生活形態に対応するため、子ども・子育て支援新制度に基づき、多様な保育メニューを提供するとともに、保育サービスの質を高め、保護者が安心して子どもを預けられ、子どもが快適に過ごせる保育環境を整えます。

施策目標における3年間の目指すべき方向性

子ども・子育て支援事業計画を着実に推進し、子育て支援の充実を図ります。
 待機児童の解消を図るため、待機児童の約8割を占める3歳未満を対象とした地域型保育事業の整備、また、既存施設の認定こども園化を推進します。
 放課後児童健全育成事業を推進し、児童クラブの待機児童を解消します。
 多様化する保育ニーズに対応するため、病後児保育・時間外保育・一時預かりなどの保育サービスの充実を図ります。
 民間保育園等に運営費を助成することにより、経営基盤の安定及び強化並びに入園児童の処遇向上を図ります。
 保育園等の運営に対して指導監査を行い、保育の質の向上を図ります。

指標 施策目標の達成状況を把握する目安となる数値

指標名	現状値	平成30年度の目標値	指標の説明・意図
保育園の入園児童数と待機児童数	3,062人 115人 (平成27年度)	3,380人 0人	保育施設の整備・充実による待機児童の解消度を測ります。 平成29年度に待機児童を解消することとしている子ども・子育て支援事業計画及び国の「待機児童解消加速化プラン」に沿った目標設定としました。
特別保育実施施設数	35施設 (平成27年度)	39施設	特別保育（時間外保育、一時預かり、病後児保育）を行うことによる多様な保育サービスの実施度合いを測ります。第3次実施計画期間中に新たに4施設で実施し、特別保育を39施設（延べ施設数）で行うことを目標としました。

第3次実施計画事業一覧表

○ 一般会計

政策的事業	26 件	定例・定型的事業	7 件	事業費（職員給与費除く）	16,483 百万円
-------	------	----------	-----	--------------	------------

No.	事業の性質	施策のねらい	事業名（★…主な第3次実施計画事業として掲載している事業）	平成28～30年度の事業費
1	政策	1	★子ども・子育て会議及び子ども・子育て支援事業計画進行管理に関する事務	2,316 千円
2	政策	1	★待機児童解消のための保育園等の整備拡充	54,893 千円
3	政策	2	★放課後児童健全育成事業	1,214,124 千円
4	政策	2	★学びの場の創出事業	69,804 千円
5	政策	2	★長期休暇対策事業	23,294 千円
6	政策	2	放課後子ども総合プランの推進	— 千円
7	政策	2	（仮称）茅ヶ崎市営小和田住宅外複合施設整備事業（児童クラブの整備）	29,714 千円
8	政策	3	★民間保育所等運営事業	8,940,741 千円
9	政策	3	★施設型給付事業	423,873 千円
10	政策	3	★地域型保育給付事業	1,118,766 千円
11	政策	3	民間保育所運営補助事業	2,779,000 千円
12	政策	3	地域型保育運営補助事業	168,268 千円
13	政策	3	中海岸保育園管理運営事業	564,495 千円
14	政策	3	公立保育園施設改修・整備事業	8,000 千円
15	政策	3	災害時メール配信事業	428 千円
16	政策	3	認可・確認・指導監査に関する事務	— 千円
17	政策	3	民間の保育所の設置認可（中核市関連）	— 千円
18	政策	3	保育士等研修事業	— 千円
19	政策	3	★公立保育園の地域子育て支援事業	— 千円
20	政策	3	幼稚園長時間預かり保育補助事業	19,440 千円
21	政策	3	休日等保育事業	1,498 千円
22	政策	3	一時預かり補助事業	967 千円
23	政策	3	認可外保育施設の届出事務（中核市関連）	— 千円
24	政策	3	認可外保育施設利用者の保育料の助成	32,193 千円
25	政策	3	認定保育施設補助事業	14,102 千円
26	政策	3	届出保育施設補助事業	5,557 千円
27	定例	3	児童健康管理事業	6,281 千円
28	定例	3	児童指導育成事業	135,254 千円
29	定例	3	保育に関する管理事業	402,323 千円
30	定例	3	保育園管理事業	465,734 千円
31	定例	3	保育料収納事務事業（口座引き落とし含む）	1,753 千円
32	定例	-	災害応急対策活動	— 千円
33	定例	-	庁内共通事務	— 千円

※事業の性質：「政策」…政策的事業・「定例」…定例・定型的事業

※中核市関連：中核市移行に伴い新たに取り組む事業。具体的な事業費については、移行に向けた準備の中で明らかにしていきます。

主な第3次実施計画事業

事業名		事業概要				指標・目標	
子ども・子育て会議及び子ども・子育て支援事業計画進行管理に関する事務		・子育て支援環境を計画的に整備するため、計画に基づく保育事業等の関連施策の進行管理を行います。 ・計画内容と実態にかい離が生じた場合は、計画の中間年（平成29年度）において計画の見直しを実施します。 ・家庭的保育事業等の認可・確認にあたっては子ども・子育て会議の意見を聴取します。 ※進捗管理施策の年度達成率B評価以上（平成26年度）：100%				指標	
						進捗管理施策の年度達成率B評価以上	
						目標	
						平成28年度 90%	
						平成29年度 90%	
一般会計							
政策的事業		継続					
施策のねらい							
1 待機児童対策の推進						平成30年度 90%	
		事業実施年度	28年度	29年度	30年度		
事業主体		市・民間	平成28～30年度の事業費		2,316 千円		
政策共通認識		■ 共生社会 □ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	■ 全市		□ 茅ヶ崎	□ 南湖	□ 海岸	□ 鶴嶺東	□ 鶴嶺西
			□ 松林	□ 湘北	□ 小和田	□ 松浪	□ 浜須賀
							□ 小出

事業名		事業概要				指標・目標	
待機児童解消のための保育園等の整備拡充		・平成27年3月に策定した子ども・子育て支援事業計画に基づき、保育園等（保育園、認定こども園及び地域型保育事業）の施設を整備し、待機児童の解消を図ります。 ※保育施設数（平成26年度）：31園（保育園31園）				指標 保育施設数（①保育園②分園③認定こども園④地域型保育事業）	
						目標	
						平成28年度 56園（①39園②2園③1園④14園）	
						平成29年度 63園（①39園②2園③3園④19園）	
						平成30年度 67園（①39園②2園③3園④23園）	
一般会計							
政策的事業		継続拡充					
施策のねらい							
1 待機児童対策の推進		事業実施年度		28年度	29年度	30年度	
事業主体		市		平成28～30年度の事業費		54,893 千円	
政策共通認識		■ 共生社会		■ 環境	□ 協働	□ 生涯学習	■ 安全・安心
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標					
放課後児童健全育成事業		・市内各小学校区に公設の児童クラブを開設し、保護者が就労等で放課後家庭に不在となる児童に、遊びと生活の場を提供します。 ・子ども・子育て支援新制度の移行期間内（平成31年度まで）に、指導員が研修を受講し、入所児童40人に対し1人は資格取得者とする事で、児童クラブの資質の向上に努めます。 ※放課後児童支援員資格・・・平成27年度より創設				指標 放課後児童支援員 資格取得者数					
一般会計						目標					
政策的事業						平成28年度 12人					
継続						平成29年度 12人					
施策のねらい						平成30年度 12人					
2 小学生の放課後支援の充実		事業実施年度				28年度		29年度		30年度	
事業主体		市、民間		平成28～30年度の事業費		1,214,124 千円					
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 ■ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心									
地域		■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出									

事業名		事業概要				指標・目標	
学びの場の創出事業		・待機児童の多い小学校区において、民間ビジネスモデルによる新たな放課後の児童の居場所を創出します。 ・新たな放課後の居場所は、保育の場としての機能と、学習・体験活動の場としての機能を保有させます。 ・さまざまな知識や経験を持つ高齢者に学習・体験活動を実施していただくことで、高齢者の生きがい就労の場も同時に創出します。				指標 入所児童数	
一般会計						目標 平成28年度 60人	
政策的事業	新規					平成29年度 90人	
施策のねらい						平成30年度 90人	
2 小学生の放課後支援の充実						平成30年度 140人	
		事業実施年度	28年度	29年度	30年度		
事業主体	市、民間	平成28～30年度の事業費	69,804 千円				
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 ■ 協働 ■ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	☐ 全市	☒ 茅ヶ崎 ☒ 松林	☐ 南湖 ☐ 湘北	☐ 海岸 ☒ 小和田	☐ 鶴嶺東 ☐ 松浪	☐ 鶴嶺西 ☐ 浜須賀	☐ 湘南 ☐ 小出

事業名		事業概要				指標・目標	
長期休暇対策事業		・長期休暇中の児童の居場所として、サマースクール、ウインタースクール、スプリングスクールを開催します。 ・各スクールでは、季節に応じた体験活動ができるようメニューを検討するとともに、宿題支援などの学習活動も実施します。 ・学習活動では、地域の高齢者などにボランティアとして活躍していただき、児童と高齢者の交流の機会も創出します。 ※サマースクールの参加人数（平成26年度）：44人				指標 サマースクールの参加人数	
一般会計						目標	
政策的事業	継続拡充					平成28年度 100人	
施策のねらい						平成29年度 130人	
2 小学生の放課後支援の充実						平成30年度 160人	
		事業実施年度	28年度	29年度	30年度		
事業主体	市、民間	平成28～30年度の事業費		23,294 千円			
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 ■ 協働 ■ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
民間保育所等運営事業		・民間保育園の自主的かつ安定した経営基盤の推進を図り、安全・安心な保育を支援するため、運営に必要な経費の一部を負担します。 ※対象保育園数（平成26年度）： ①他市公立保育所負担金9園 ②民間保育所63園（他市民間保育所含む）				指標 対象保育園数①他市公立保育所②民間保育所（他市民間保育所含む）	
一般会計						目標	
政策的事業	継続拡充					平成28年度 ①10園 ②民間保育所67園	
施策のねらい						平成29年度 ①10園 ②民間保育所67園	
3 保育サービスの質の向上						平成30年度 ①10園 ②民間保育所67園	
		事業実施年度	28年度	29年度	30年度		
事業主体		市	平成28～30年度の事業費			8,940,741 千円	
政策共通認識		■ 共生社会 □ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
施設型給付事業		・施設型給付の対象となる市内幼稚園・市外幼稚園及び認定こども園の安全・安心な保育を支援するため、市内在住の対象児童数に応じて施設型給付費を支給します。				指標 対象施設数	
一般会計						目標 平成28年度 6施設	
政策的事業	継続拡充					平成29年度 8施設	
施策のねらい						平成30年度 8施設	
3 保育サービスの質の向上						平成30年度 8施設	
		事業実施年度	28年度	29年度	30年度		
事業主体	市	平成28～30年度の事業費	423,873 千円			平成30年度 8施設	
政策共通認識		■ 共生社会 □ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事 業 名		事 業 概 要				指標・目標	
地域型保育給付事業		・小規模保育施設、事業所内保育施設及び家庭的保育施設の安全・安心な保育を支援するため、市内在住の対象児童数に応じて地域型保育給付費を支給します。 ※受入人数（平成26年度）：25人				指標 受入人数	
一般会計						目標 平成28年度 144人	
政策的事業	継続					平成29年度 220人	
施策のねらい						平成30年度 220人	
3 保育サービスの質の向上						平成30年度 220人	
		事業実施年度	28年度	29年度	30年度		
事業主体	市	平成28～30年度の事業費		1,118,766 千円			
政策共通認識		■ 共生社会 □ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
公立保育園の地域子育て支援事業		・公設公営保育園を地域の子育て拠点とし、育児相談・情報提供・園庭開放など、地域の子育て家庭への支援事業を行います。 ※園庭開放参加人数（平成26年度）：9,297人				指標 園庭開放参加人数	
						目標	
						平成28年度 10,000人	
						平成29年度 10,000人	
						平成30年度 10,000人	
一般会計							
政策的事業		継続					
施策のねらい							
3 保育サービスの質の向上							
		事業実施年度	28年度	29年度	30年度		
事業主体		市	平成28～30年度の事業費		一 千円		
政策共通認識		■ 共生社会 □ 環境 ■ 協働 □ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 ■ 松林		□ 南湖 ■ 湘北	□ 海岸 □ 小和田	□ 鶴嶺東 ■ 松浪	□ 鶴嶺西 ■ 浜須賀	■ 湘南 □ 小出

施策目標：3

子どもの健康な成長を支援する（こども育成相談課）

施策のねらい

- 母子保健対策の充実
母子保健対策を充実し、子どもも親も健康な生活を送り、子どもを産み育てやすい環境づくりを進めるとともに、訪問指導の充実を図り、支援を必要とする家庭を支援します。
- 子育てサービスの充実
親となる人に基本的な子育ての仕方を身につけてもらえるよう、訪問指導や相談事業などの子育てサービスを充実します。
- 家庭児童相談事業の充実
家庭児童相談事業を充実し、子育て家庭の育児不安などの解消を目指します。また、関係機関と連携して、児童虐待相談の充実と虐待の未然防止対策を強化するとともに、児童虐待の起きた家庭を支援します。
- 療育相談事業の充実
巡回相談などを通じて幼稚園、保育園、学校などの機関と連携を深め、療育相談を充実します。

施策目標における3年間の目指すべき方向性

家庭における適正な児童養育の向上及び児童虐待の未然防止と早期発見のため、家庭児童相談事業を更に充実させるとともに、児童虐待の予防として、ほしつ そだれん（ほめる・しかる・つたえる子育て練習講座）の着実な普及を図ります。

こどもセンターは、育児に対する不安や悩みの解決を目指し、母子保健関連事業等との連携を強化していきます。

母子保健においては、子どもも親も心身共に健全な生活を支援するとともに、訪問指導を充実させ、児童虐待の早期発見、早期対応を図ります。また、母子保健コーディネーターを配置し、各家庭に応じたサービス情報を提供し、不安なく妊娠期から子育て期を過ごせるように支援します。

指標 施策目標の達成状況を把握する目安となる数値

指標名	現状値	平成30年度の目標値	指標の説明・意図
家庭児童相談室の相談解決率	67.0% (平成26年度)	70.6%	家庭児童相談室で受けている相談受付児童数と年度末継続相談児童数により、相談を解決している割合を測ります。 増加傾向にある相談に対応するため、児童相談所等の関係機関との連携を更に密にし、児童・家庭への支援・相談体制の強化を図り、25年度実績が68.1%であり、第3次実施計画画期間中に毎年相談解決率0.5%増を目指した目標値としました。

第3次実施計画事業一覧表

○ 一般会計

政策的事業	21 件	定例・定型的事業	4 件	事業費（職員給与費除く）	1,938 百万円
-------	------	----------	-----	--------------	-----------

No.	事業の性質	施策のねらい	事業名（★…主な第3次実施計画事業として掲載している事業）	平成28～30年度の事業費
1	政策	1	母子保健訪問指導等事業 ◆保健所政令市関連事業	33,386 千円
2	政策	1	乳幼児育成指導事業 ◆保健所政令市関連事業	6,369 千円
3	政策	1	母子栄養健康づくり事業 ◆保健所政令市関連事業	945 千円
4	政策	1	乳幼児健康・育児相談事業 ◆保健所政令市関連事業	11,340 千円
5	政策	1	母子保健指導事業 ◆保健所政令市関連事業	719 千円
6	政策	1	思春期保健指導事業 ◆保健所政令市関連事業	14 千円
7	政策	1	子育て教室事業 ◆保健所政令市関連事業	2,044 千円
8	政策	1	母子保健管理事業 ◆保健所政令市関連事業	196 千円
9	政策	1	★こども予防接種事業 ◆保健所政令市関連事業	1,299,421 千円
10	政策	1	★乳幼児健康診査事業 ◆保健所政令市関連事業	116,170 千円
11	政策	1	★妊婦健康診査事業 ◆保健所政令市関連事業	241,100 千円
12	政策	1	母子健康手帳交付事業 ◆保健所政令市関連事業	9,178 千円
13	政策	1	★B型肝炎ワクチン接種事業 ◆保健所政令市関連事業	83,352 千円
14	政策	1	★母子保健コーディネーター事業 ◆保健所政令市関連事業	8,095 千円
15	政策	2	小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業 ◆保健所政令市関連事業	176 千円
16	政策	3	★家庭児童相談事業	39,691 千円
17	政策	3	母子生活支援施設事業	11,725 千円
18	政策	3	助産施設事業	3,912 千円
19	政策	3	父子手帳交付事業 ◆保健所政令市関連事業	— 千円
20	政策	4	★療育相談事業	57,525 千円
21	政策	4	いじめ問題対策連絡協議会事業	— 千円
22	定例	1	幼児のことばの教室事業 ◆保健所政令市関連事業	10,736 千円
23	定例	3	育児支援家庭訪問事業	2,171 千円
24	定例	—	災害応急対策活動	— 千円
25	定例	—	庁内共通事務	— 千円

※事業の性質：「政策」…政策的事業・「定例」…定例・定型的事業

◆保健所政令市関連事業：保健所政令市移行に向けた準備又は移行後に保健所で実施する事業

主な第3次実施計画事業

事業名		事業概要				指標・目標	
こども予防接種事業		・予防接種法、予防接種法施行令等に基づき予防接種を実施します。 ・医療機関との連携を密にし、誤接種の防止に努めます。 ・里帰り等により、委託医療機関で接種できなかった場合は償還払いを実施します。 ※平均接種率（平成26年度）：95.4％ （子宮頸がん予防ワクチン、日本脳炎、三種混合不活化ポリオ、水痘除く）				指標 平均接種率	
一般会計						目標 平成28年度 100.0%	
政策的事業	継続拡充					平成29年度 100.0%	
施策のねらい						平成30年度 100.0%	
1 母子保健対策の充実		事業実施年度	28年度	29年度	30年度	平成30年度 100.0%	
事業主体	市	平成28～30年度の事業費	1,299,421 千円				
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
乳幼児健康診査事業		・乳幼児健康診査において、発育・発達の確認や診察を行い、育児・栄養相談が必要な場合は、電話相談を行います。 ・精密健診が必要なケースについては、適切な医療機関を紹介します。 ・発達の遅れや子育てに心配がある等の場合には、関係機関と連携するなど、支援を継続します。 ※平均受診率（平成26年度）：96.9%				指標 平均受診率	
一般会計						目標 平成28年度 97.0%	
政策的事業	継続					平成29年度 97.0%	
施策のねらい						平成30年度 97.0%	
1 母子保健対策の充実						平成30年度 97.0%	
		事業実施年度	28年度	29年度	30年度		
事業主体	市	平成28～30年度の事業費		116,170 千円			
政策共通認識		■ 共生社会 □ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
妊婦健康診査事業		・母子健康手帳交付時及び転入時に妊婦健康診査費用について、補助券を交付します。 ・里帰り等により、補助券が利用できなかった場合は償還払いを実施します。 ・妊婦健康診査により異常の早期確認、保健指導が必要な妊婦に対する適切な指導を実施します。 ※妊婦健康診査補助券の利用率（平成26年度）：85.7%				指標 妊婦健康診査補助券の利用率	
一般会計						目標	
政策的事業	継続					平成28年度 90.0%	
施策のねらい						平成29年度 90.0%	
1 母子保健対策の充実						平成30年度 90.0%	
		事業実施年度	28年度	29年度	30年度		
事業主体	市	平成28～30年度の事業費		241,100 千円		平成30年度 90.0%	
政策共通認識		■ 共生社会 □ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事 業 名		事 業 概 要				指標・目標
B型肝炎ワクチン接種事業		・予防接種法、予防接種法施行令等に基づき予防接種を実施します。 ・医療機関との連携を密にし、誤接種の防止に努めます。 ・里帰り等により、委託医療機関で接種できなかった場合は償還払いを実施します。 ・平成28年度中に新たに実施します。（実施開始時期未定） 28年度の目標値については、接種方法（対象者・経過措置）未定のため、設定ができない状況です。				指標 接種率
一般会計						目標 平成28年度
政策的事業	新規					-
施策のねらい						平成29年度 100.0%
1 母子保健対策の充実						平成30年度 100.0%
		事業実施年度	28年度	29年度	30年度	
事業主体	市	平成28～30年度の事業費	83,352 千円			平成30年度 100.0%
政策共通認識		■ 共生社会 □ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 □ 安全・安心				
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出					

事業名		事業概要				指標・目標	
母子保健コーディネーター事業		・不安なく妊娠期から子育て期を過ごすことができるよう支援するため、母子保健コーディネーターを配置します。 ・妊産婦からの電話相談や窓口での相談に対応し、相談者個々の生活にあったサービスの情報提供とともに、母体及び家族の健康維持に役立つ情報提供を行います。				指標 相談件数	
						目標	
						平成28年度 1,000件	
						平成29年度 1,000件	
一般会計							
政策的事業		新規					
施策のねらい							
1 母子保健対策の充実							
		事業実施年度	28年度	29年度	30年度		
事業主体	市	平成28～30年度の事業費	8,095 千円			平成30年度 1,000件	
政策共通認識		■ 共生社会 □ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事 業 名		事 業 概 要				指標・目標	
家庭児童相談事業		・児童虐待予防対策として、ほしつ そだれん（ほめる・しかる・つたえる子育て練習講座）を継続して実施します。 ・子育て機関の職員を対象にトレーナー養成講座を実施し、保育園や学校等が地域で自主開催する講座を増やします。 ・要保護児童対策地域協議会の代表者、実務者を対象とした研修を実施し、スキルアップを図ります。 相談解決率（平成26年度）：67.0% 事業実施年度 28年度 29年度 30年度 平成28～30年度の事業費 39,691 千円				指標 相談解決率	
一般会計						目標	
政策的事業	継続					平成28年度 69.6%	
施策のねらい						平成29年度 70.1%	
3 家庭児童相談事業の充実						平成30年度 70.6%	
事業主体	市						
政策共通認識		■ 共生社会 □ 環境 ■ 協働 ■ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
療育相談事業		・親子教室・巡回相談等各種相談方法により、児童発達支援センター・幼稚園・保育園・学校等へとつなぎます。 ・子どもの理解・支援のあり方について、各機関と連携を深め、支援体制の充実を図ります。 ・発達障害の理解と啓発を目的に、市民向けおよび関係機関向けの講演会を実施します。 ※相談件数（平成26年度）：2,577件				指標 相談件数	
一般会計						目標	
政策的事業	継続					平成28年度 2,600件	
施策のねらい						平成29年度 2,600件	
4 療育相談事業の充実						平成30年度 2,600件	
		事業実施年度	28年度	29年度	30年度		
事業主体	市	平成28～30年度の事業費		57,525 千円			
政策共通認識		■ 共生社会 □ 環境 □ 協働 ■ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

政策目標
2

次世代をはぐくむ教育力に富んだまち
(教育推進部)

目指すべき将来像

児童・生徒が学びへの意欲にあふれ、学力とともに豊かな人間性がはぐくまれている
地域の教育資源を活用することで授業の充実が図られ、地域連携が推進されている
学んだ成果が地域の中で生かされている
家庭、地域、学校の連携協力により、まちの教育力が生かされている
公民館や図書館などが学習・活動の拠点となり、市民自らが地域課題を解決していこうとする機運が高まっている
文化財が適切に保護され、活用されている
次代を担う市民が育つ教育政策が進んでいる
子どもと大人が共に育つ教育理念が政策に生きている
基礎的な調査・研究を生かした新たな教育の展開が生まれ、教育課題の解決が図られている

政策目標における3年間の目指すべき方向性

教育基本計画の理念を踏まえ、学校教育と社会教育が連携を図りながら、次世代育成のための教育を展開します。

学校教育では、これまでの地域連携の取り組みをつなげ、地域の教育資源を活用し、家庭、地域、学校が連携協力し、確かな学力、豊かな人間性と自律性、健やかな体をはぐくみます。また、インクルーシブ教育システムの構築に向け、特別な配慮を必要とする児童・生徒一人一人の教育的ニーズに応じた支援の充実を図ります。

社会教育においては、公民館を中心に地域の絆や人との繋がりを醸成できるよう、世代交流などの地域交流事業に取り組みます。また、国史跡として指定された下寺尾官衙遺跡群について将来の活用を見据えた事業を展開するとともに、文化財保護思想の啓発活動に取り組みます。

青少年の健全育成については、家庭、地域、学校との連携協力により進めます。また、青少年の活動拠点の一つである海岸青少年会館については、新たに（仮称）茅ヶ崎公園体験学習施設として整備します。

読書活動を推進するため、ブックスタート事業や読み聞かせボランティアの育成などを引き続き実施するとともに、図書館未利用者へ向けた働きかけや、身近で利用しやすいサービスの提供を目指し、図書資料受取窓口の増設に向けた検討をします。

教育センターでは、幼児期の教育に関する基礎研究等の成果について引き続き各地域に出向いて講座を行うなど、教育関係者や市民が共に学びあえる場づくりと情報提供を行います。また、学校における教育相談の増加、相談内容の深刻化などに対応できる仕組みを構築し、相談体制の拡充を進めます。

一般会計	事業数	概算事業費
政策的事業	29	1,822 百万円
定例・定型的事業	163	1,998 百万円
職員給与費		2,066 百万円
一般会計概算事業費合計		5,886 百万円

施策目標：4

学びの質を高め、学び続ける意欲を育てる学校教育を推進する

(学校教育指導課)



施策のねらい

1 確かな学力と豊かな人間性の育成

子どもの育ちを支える教育を推進し、自ら学び続けることによって身に付く学力とともに豊かな人間性をはぐくみます。

2 児童・生徒が主体的に学ぶ教育の推進

自分を取り巻く世界との出会いと対話を通し、児童・生徒が学びへの意欲にあふれ、主体的に学ぶ授業づくりを軸とした教育を進めます。

3 教育相談機能の充実

児童・生徒が抱える悩みを気軽に相談し、解決することができるよう、学校における教育相談機能を充実します。

4 児童・生徒一人一人の状況に応じた教育の推進

児童・生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、生活や学習上の困難を改善し、克服するため、適切な指導や必要な支援を行う教育を推進します。

5 児童・生徒の成長を促す教育課程の編成

児童・生徒の学び続ける意欲と豊かな人間性をはぐくむ教育課程を編成し、教育活動として具現化できるよう学校への支援を行います。

6 家庭、地域、学校が連携した学校づくりの推進

児童・生徒の確かな学力、豊かな心、健やかな体をはぐくむため、家庭、地域、学校が連携して、特色ある学校づくり、魅力ある学校づくり、信頼される学校づくりを進めます。



施策目標における3年間の目指すべき方向性

通常級において特別な配慮を必要とする児童への支援を充実させるため、通級指導教室（そだちの教室）を小学校1校に増設します。さらに、「みんなの教室」のモデル校の継続をはじめとして、障害の有無に関わらず、特別な配慮を必要とする児童・生徒一人一人の教育的ニーズに応じた支援の充実を図ります。引き続き、児童・生徒指導推進事業を実施することで、学校における教育相談体制を充実させ、児童・生徒の悩みの早期発見・早期対応に努めます。

指標 施策目標の達成状況を把握する目安となる数値

指標名	現状値	平成 30 年度の目標値	指標の説明・意図
「学校へ行こう週間」及び授業参観の来校者数(小学校)	27,744 人 (平成 26 年度)	29,000 人	学校に対する理解と支援を得て、子どもが安心して学ぶことができるよう、学校を開き、多くの保護者や地域の方々に来校していただく教育活動を推進しているかを測ります。「学校へ行こう週間」は、県教育委員会の事業ですが、開始当初は、「学校へ行こう週間」に集中していた学校公開が、多くの学校で年間を通して実施されるようになったため、授業参観も加えた来校者数を指標としました。23 年度から 26 年度の実績値を踏まえ、現状に即した来校者数を目標値としました。
「学校へ行こう週間」及び授業参観の来校者数(中学校)	13,165 人 (平成 26 年度)	15,000 人	
学校における地域人材等の資源活用数	562 件 (平成 26 年度)	580 件	地域の教育資源を活用することによって体験的な学習を実現し、児童・生徒の学びへの興味・関心を引き出し、自ら学ぼうとする意欲を高める授業を推進しているかを測ります。23 年度は、各学校の平均活用件数は 16.3 件でした。各学校の平均活用件数を 18.1 件に増やすこととし、目標値を設定しました。

第3次実施計画事業一覧表

○ 一般会計

政策的事業		8 件	定例・定型的事業	45 件	事業費（職員給与費除く）	991 百万円
No.	事業の性質	施策のねらい	事業名（★…主な第3次実施計画事業として掲載している事業）			平成28～30年度の事業費
1	政策	1	教科書改訂に伴う教育活動整備事業（小学校）			— 千円
2	政策	2	★ 外国人英語指導助手活用事業			75,967 千円
3	政策	2	小学校放課後教室事業			— 千円
4	政策	4	★ いじめ防止対策推進事業			609 千円
5	政策	4	★ みんなの教室運営に伴う教育活動整備事業			8,061 千円
6	政策	4	★ 通級指導教室増設事業			517 千円
7	政策	4	★ 通級指導教室増設に伴う教育活動整備事業			9,094 千円
8	政策	5	★ 学校校務支援システム配備事業			25,395 千円
9	定例	1	学校訪問（計画・要請・機会訪問）			— 千円
10	定例	1	学校評価推進・学校評議員制度充実事業			2,045 千円
11	定例	1	学校経営研究事業			— 千円
12	定例	1	教育課程編成研究推進事業			333 千円
13	定例	1	小学校研究・研修・帳票作成事務			9,943 千円
14	定例	1	中学校研究・研修・帳票作成事務			3,213 千円
15	定例	1	人権教育推進事業			784 千円
16	定例	1	特別支援教育研究事業			153 千円
17	定例	1	小動物飼育アドバイザー派遣事業			510 千円
18	定例	1	学校教育の充実・指導事業			19,271 千円
19	定例	1	学校教育指導課小・中教頭連絡会に係る事務			— 千円
20	定例	1	全県・湘南三浦教育事務所管内指導主事会議に係る事務			— 千円
21	定例	1	教科書給与事務担当者会に係る事務			108 千円
22	定例	1	教科用図書採択検討委員会に係る事務			60 千円
23	定例	2	小学校外国語活動支援員派遣事業			11,865 千円
24	定例	2	外国語教育推進事業			230 千円
25	定例	2	安全・防災教育推進事業			77 千円
26	定例	2	健康教育推進事業			77 千円
27	定例	2	日本語指導協力者派遣事業			17,443 千円
28	定例	2	普通救命講習会に係る事務			69 千円
29	定例	2	学校教育指導課関係事業連絡協議会に係る事務			— 千円
30	定例	3	★ 特別支援教育巡回相談事業			39,348 千円
31	定例	4	特色ある教育課程の創造推進事業（小学校）			2,523 千円
32	定例	4	特色ある教育課程の創造推進事業（中学校）			1,191 千円
33	定例	4	★ 児童・生徒指導推進事業			12,345 千円
34	定例	4	★ ふれあい補助員派遣事業			283,150 千円
35	定例	4	就学相談事業			1,288 千円
36	定例	4	特別支援教育支援事業			19,119 千円
37	定例	4	小学校特別支援学級教育支援事業			1,768 千円
38	定例	4	中学校特別支援学級教育支援事業			1,148 千円
39	定例	4	特別支援学級増設検討事業			— 千円
40	定例	4	教育用パソコンに関する会議等に係る事務			— 千円
41	定例	4	文部科学省、県、湘南三浦教育事務所経由の文書処理			— 千円
42	定例	5	教育情報ネットワーク事業			32,864 千円
43	定例	5	教育用パソコン配備運営事業			— 千円
44	定例	5	小学校情報機器配備運営事業			222,786 千円
45	定例	5	中学校情報機器配備運営事業			151,044 千円
46	定例	5	学校行事関連事業			1,071 千円
47	定例	6	ふれあい教育推進事業			6,425 千円
48	定例	6	学校支援・地域連携事業			237 千円
49	定例	6	中学校部活動指導協力者派遣事業			25,807 千円
50	定例	6	読書活動指導協力者派遣事業			3,059 千円
51	定例	6	創意工夫教育支援事業			— 千円
52	定例	-	災害応急対策活動			— 千円
53	定例	-	庁内共通事務			187 千円

第3次実施計画事業一覧表

※事業の性質：「政策」…政策的事業・「定例」…定例・定型的事業

主な第3次実施計画事業

事業名		事業概要				指標・目標	
外国人英語指導助手活用事業		・ネイティブスピーカーを活用した授業を実施できるよう、各小・中学校に外国人英語指導助手を配置します。 ・より効果的な運用を図るために、各小・中学校の担当者を対象に打合会や検討会を開催します。 ※小・中学校に外国人英語指導助手を配置する延べ日数（平成26年度）：年間1,100日				指標 小・中学校に外国人英語指導助手を配置する延べ日数	
一般会計						目標 平成28年度 年間1,100日	
政策的事業	継続拡充					平成29年度 年間1,100日	
施策のねらい						平成30年度 年間1,100日	
2 児童・生徒が主体的に学ぶ教育の推進		事業実施年度	28年度	29年度	30年度	平成30年度 年間1,100日	
事業主体	市	平成28～30年度の事業費	75,967 千円				
政策共通認識		■ 共生社会 □ 環境 □ 協働 ■ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
いじめ防止対策推進事業		・「茅ヶ崎市いじめ防止基本方針」に基づき、学校、家庭、地域、関係機関・団体等との連携を図りながら、いじめの未然防止・早期発見・早期解決のための取り組みを推進します。 ※いじめ防止対策調査会開催回数（平成26年度）：1回 事業実施年度 28年度 29年度 30年度 平成28～30年度の事業費 609 千円				指標 いじめ防止対策調査会開催回数	
一般会計						目標	
政策的事業						平成28年度 2回	
継続							
施策のねらい						平成29年度 2回	
4 児童・生徒一人一人の状況に応じた教育の推進						平成30年度 2回	
事業主体		市				平成30年度 2回	
政策共通認識		■ 共生社会 □ 環境 ■ 協働 □ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域		■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出					

事業名		事業概要				指標・目標	
みんなの教室運営に伴う教育活動整備事業		・インクルーシブ教育に向けた取り組みとして、特別な配慮を必要とする児童・生徒の状況に応じ、教育的環境を充実させます。 ・学習において使用する補助教材・備品等を購入します。 ※平成27年度より県の委託を受け、中学校1校で実施				指標 みんなの教室の設置校数	
						目標 平成28年度 1校	
						平成29年度 1校	
						平成30年度 1校	
一般会計							
政策的事業	継続拡充						
施策のねらい							
4 児童・生徒一人一人の状況に応じた教育の推進							
		事業実施年度	28年度	29年度	30年度		
事業主体	市	平成28～30年度の事業費		8,061 千円			
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
通級指導教室増設事業		・児童の状況、通学距離、学校施設の使用状況などを総合的に検討し、通級指導教室を増設します。				指標	
						通級指導教室を増設	
						目標	
						平成28年度 開設準備	
						平成29年度 開設	
一般会計						平成30年度 —	
政策的事業		新規					
施策のねらい							
4 児童・生徒一人一人の状況に応じた教育の推進							
		事業実施年度		28年度	29年度		
事業主体		市		平成28～30年度の事業費		517 千円	
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	■ 全市		□ 茅ヶ崎	□ 南湖	□ 海岸	□ 鶴嶺東	□ 鶴嶺西
			□ 松林	□ 湘北	□ 小和田	□ 松浪	□ 浜須賀
							□ 小出

事業名		事業概要				指標・目標	
通級指導教室増設に伴う教育活動整備事業		・通級指導教室の増設に伴い必要となる教育的環境を整備します。 ・特別支援教育相談員（臨床心理士）を配置します。 ・学習において使用する補助教材・備品等を購入します。				指標 通級指導教室の増設	
一般会計						目標 平成28年度 —	
政策的事業	新規					平成29年度 開設	
施策のねらい						平成30年度 —	
4 児童・生徒一人一人の状況に応じた教育の推進		事業実施年度		29年度	30年度	平成29年度 開設	
事業主体	市	平成28～30年度の事業費		9,094 千円		平成30年度 —	
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事 業 名		事 業 概 要				指標・目標	
学校校務支援システム配備事業		・学習活動の結果としての評価や評定の妥当性、信頼性を保障するために、市内公立中学校全校（13校）に配備した校務支援ソフトの保守管理を行います。 ※配備校数（平成26年度）：13校				指標 配備校数	
一般会計						目標 平成28年度 13校	
政策的事業	継続					平成29年度 13校	
施策のねらい						平成30年度 13校	
5 児童・生徒の成長を促す教育課程の編成							
		事業実施年度	28年度	29年度	30年度		
事業主体	市	平成28～30年度の事業費	25,395 千円			平成30年度 13校	
政策共通認識		■ 共生社会 □ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
特別支援教育巡回相談事業		・専門性のある特別支援教育相談員（臨床心理士）や指導主事が要請に応じて学校を訪問し、児童・生徒及び保護者との相談を実施します。 ・学校やPTA及び諸機関からの要請に応じて、発達障害に関わる研修や啓発活動を行います。 ※要請訪問相談件数（平成26年度）：495件				指標 要請訪問相談件数	
一般会計						目標	
定例・定型の事業	継続					平成28年度 450件	
施策のねらい						平成29年度 450件	
3 教育相談機能の充実						平成30年度 450件	
		事業実施年度	28年度	29年度	30年度		
事業主体	市	平成28～30年度の事業費		39,348 千円		平成30年度 450件	
政策共通認識		■ 共生社会 □ 環境 □ 協働 ■ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
児童・生徒指導推進事業		・いじめ・長期欠席・問題行動等に関する調査を行い、未然防止・早期発見・早期対応に努めます。 ・具体的な対応方法などについての研究協議や担当教員を対象とした講演会等を実施します。 ・スクールソーシャルワーカーによる相談・支援活動を実施します。 ※児童・生徒指導担当教員研究会の開催回数（平成26年度）：5回				指標 児童・生徒指導担当教員研究会の開催回数	
一般会計						目標	
定例・定型的事業	継続					平成28年度 5回	
施策のねらい						平成29年度 5回	
4 児童・生徒一人一人の状況に応じた教育の推進		事業実施年度	28年度	29年度	30年度	平成30年度 5回	
事業主体	市	平成28～30年度の事業費		12,345 千円			
政策共通認識		■ 共生社会 □ 環境 □ 協働 ■ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
ふれあい補助員派遣事業		・特別な配慮を必要とする児童・生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、小・中学校にふれあい補助員を派遣します。 ・通常級担当・特別支援学級担当・個別支援担当の各ふれあい補助員が、児童・生徒一人一人の教育的ニーズに応じた学習支援や生活支援などを行います。 ※派遣人数（平成26年度）：118人				指標 派遣人数	
一般会計						目標 平成28年度 118人	
定例・定型的事業	継続					平成29年度 118人	
施策のねらい						平成30年度 118人	
4 児童・生徒一人一人の状況に応じた教育の推進		事業実施年度	28年度	29年度	30年度	平成30年度 118人	
事業主体	市	平成28～30年度の事業費		283,150 千円			
政策共通認識		■ 共生社会 □ 環境 □ 協働 ■ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

施策目標：5

自分を見つめ、地域を見つめる社会教育と文化財保護を推進する

(社会教育課)

施策のねらい

- 1 家庭教育・幼児期の教育の支援
すべての教育の出発点である家庭教育や幼児期の教育の学習機会や情報の提供などの取り組みを進め、家庭教育や幼児期の教育を支援します。
- 2 地域の教育力の向上
児童・生徒が地域の自然や歴史、文化などを学ぶ機会や地域の人たちとの交流やふれあいなど、さまざまな体験を通して成長できるよう地域の教育力の充実に取り組みます。
- 3 効果的な社会教育の推進
さまざまな社会教育事業を体系化し、現代的課題や地域課題などの社会的要請に対応した学習機会の提供など効果的な社会教育を推進します。
- 4 地域の学習拠点としての公民館の充実
利用者の安全性と利便性の向上を図るため、公民館施設を適切に維持管理し、整備します。公民館は、地域の学習拠点として、家庭、地域、学校を結ぶコーディネーター的役割を担い、世代間交流、地域づくり、地域活動への支援を行い、地域課題を地域が自ら解決する力が育つよう支援します。
- 5 文化財の保護・活用
先人が守り、伝えてきた市民の誇れる文化であり、次世代へ伝えるべき文化財の調査・研究、保全・保護、活用を図り、文化財保護の考え方の普及・啓発を進め、人づくり、まちづくりに生かしていきます。この過程で市民との協働を通じて郷土愛をはぐくみます。

施策目標における3年間の目指すべき方向性

社会教育においては、公民館を中心に、次世代育成に向けた家庭教育への支援、子どもたちの居場所づくりに取り組みます。また、地域の絆や人と人とのつながりを醸成できるよう、世代交流、ふれあいなどの地域交流事業に取り組みます。そうした公民館活動、社会教育を進めるため、社会教育主事会を中心として研究・研修の充実を図ります。

また、文化財保護については、国史跡として指定された下寺尾官衙遺跡群の保存活用計画策定など将来の活用を見据えた事業を展開するとともに、文化資料館の移転整備事業や「ちがさき丸ごとふるさと発見博物館」事業など市民の誰もが郷土を知り、郷土に誇りと愛着を持てるよう文化財保護事業を推進します。

指標 施策目標の達成状況を把握する目安となる数値

指標名	現状値	平成30年度の目標値	指標の説明・意図
社会教育主催事業・イベントの参加者数	46,223 人 (平成26年度)	49,000 人	地域課題や社会要請課題に対応した学習機会の提供ができたかを測ります。公民館などの主催事業の参加者数を、地域との連携を図りながら、3,000 人増やすことを目標としました。
文化財の指定件数	41 件 (平成26年度)	47 件	市の貴重な宝である文化財について、適切な保存活用を図り、後世に確実に継承していくため、文化財の指定件数が何件増えたかを測ります。現行から6件増やして、47件とすることを目標としました。(但し、天然記念物の自然減(樹木の枯死などによる減)があった場合の登録数の減は算定に含まないものとします。)

第3次実施計画事業一覧表

○ 一般会計

政策的事業		12 件	定例・定型的事業	37 件	事業費（職員給与費除く）	821 百万円
No.	事業の性質	施策のねらい	事業名（★…主な第3次実施計画事業として掲載している事業）			平成28～30年度の事業費
1	政策	4	耐震補強及び施設改修事業（小和田公民館）			— 千円
2	政策	4	社会教育嘱託員の処遇の見直し			— 千円
3	政策	5	★ 下寺尾遺跡群（七堂伽藍跡・高座郡衙）保存整備事業			87,321 千円
4	政策	5	★ 文化資料館移転整備及び周辺地整備事業			373,724 千円
5	政策	5	「ちがさき丸ごとふるさと発見博物館」運営体制の構築			— 千円
6	政策	5	「ちがさき丸ごとふるさと発見博物館講座」の動画配信および事業PR			8,446 千円
7	政策	5	都市資源データベースの導入の検討			— 千円
8	政策	5	旧相模川橋脚保存活用事業			1,909 千円
9	政策	5	鶴嶺八幡参道文化財整備事業			103 千円
10	政策	5	堤貝塚保存用地整備事業			320 千円
11	政策	5	市指定重要文化財旧和田家・旧三橋家保存整備事業			4,485 千円
12	政策	5	文化財収蔵施設の整備事業			— 千円
13	定例	1	家庭教育支援関連事業（公民館）			3,589 千円
14	定例	2	子ども事業（公民館）			7,818 千円
15	定例	2	社会教育関係団体への支援			531 千円
16	定例	3	★ 社会教育関係職員及び審議会委員等の研修事業			4,890 千円
17	定例	3	★ 社会教育講座の開催			424 千円
18	定例	3	PTA研修会の開催			205 千円
19	定例	3	社会教育委員に関する事務			2,169 千円
20	定例	3	社会教育施設としての公民館のあり方の研究			— 千円
21	定例	3	★ 社会的要請課題をテーマとした事業（公民館）			2,625 千円
22	定例	3	社会教育課事業のまとめ誌の発行			— 千円
23	定例	4	学習情報の提供（公民館）			— 千円
24	定例	4	★ 学習成果の還元事業（公民館）			2,724 千円
25	定例	4	公民館ふれあい事業（公民館）			2,450 千円
26	定例	4	次世代育成ネットワーク事業（公民館）			— 千円
27	定例	4	地域交流事業（公民館）			2,472 千円
28	定例	4	公民館運営審議会（公民館）			3,941 千円
29	定例	4	公民館利用者活動支援事業（公民館）			116,342 千円
30	定例	4	施設維持管理（公民館）			56,670 千円
31	定例	4	施設保守点検（公民館）			4,650 千円
32	定例	5	市指定重要文化財旧和田家・旧三橋家管理運営事業			21,726 千円
33	定例	5	★ ちがさき丸ごとふるさと発見博物館事業			2,402 千円
34	定例	5	★ 遺跡調査資料整理・保存事業			12,690 千円
35	定例	5	文化財保護審議会の開催			759 千円
36	定例	5	文化財保護管理事業			17,208 千円
37	定例	5	文化財保護思想の普及啓発			753 千円
38	定例	5	埋蔵文化財保護事業			8,531 千円
39	定例	5	開発に伴う埋蔵文化財の保護指導			17,689 千円
40	定例	5	文化資料館管理運営事業			19,888 千円
41	定例	5	文化資料館教育普及事業			180 千円
42	定例	5	文化的郷土資料調査事業			— 千円
43	定例	5	自然誌郷土資料調査事業			— 千円
44	定例	5	（仮称）歴史文化基本構想策定事業			— 千円
45	定例	5	文化・スポーツ振興財団埋蔵文化財補助			31,202 千円
46	定例	-	災害応急対策活動			— 千円
47	定例	-	災害応急対策活動（公民館）			— 千円
48	定例	-	庁内共通事務			77 千円
49	定例	-	庁内共通事務（公民館）			— 千円

※事業の性質：「政策」…政策的事業・「定例」…定例・定型的事業

主な第3次実施計画事業

事業名		事業概要				指標・目標		
下寺尾遺跡群（七堂伽藍跡・高座郡衙）保存整備事業		・国史跡として指定された下寺尾官衙遺跡群とその周辺遺跡の後世への確実な継承を図るため、下寺尾官衙遺跡群に係る全域調査と保存すべき区域の一体的な保存管理及び活用整備を行います。 ※適切な保存管理、活用整備（平成26年度）：基本設計・公開普及				指標 事業の進捗状況		
						目標		
						平成28年度 保存活用計画の策定		
						平成29年度 活用整備計画の策定		
一般会計		事業実施年度				平成30年度 活用整備計画の策定		
政策的事業	継続					28年度	29年度	30年度
施策のねらい								
5 文化財の保護・活用								
事業主体	市	平成28～30年度の事業費		87,321 千円				
政策共通認識		□ 共生社会 ■ 環境 ■ 協働 ■ 生涯学習 ■ 安全・安心						
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 ■ 小出							

事業名		事業概要				指標・目標	
文化資料館移転整備及び周辺地整備事業		・有識者や市民との意見交換を行い、現資料館機能の移転と新資料館の開設に向けた検討・準備を行います。 ・建物・外溝・展示・収蔵に関する基本設計・実施設計を行い、新資料館建設工事を施工します。 ・事業用地の公有地化及び周辺地整備事業との調整を行います。 ※事業の進捗状況（平成26年度）：基本計画策定				指標 事業の進捗状況	
						目標	
						平成28年度 基本設計	
						平成29年度 実施設計・周辺整備工事・用地取得	
一般会計						平成30年度 周辺整備工事 ・用地取得	
政策的事業		継続					
施策のねらい							
5 文化財の保護・活用							
		事業実施年度		28年度	29年度	30年度	
事業主体		市		平成28～30年度の事業費		373,724 千円	
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 ■ 協働 ■ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湖北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 ■ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
社会教育関係職員及び審議会委員等の研修事業		・社会教育関係職員や審議会委員等に対して知識や認識を深め、資質の向上を図るため、研修の実施や県等が実施する研修会へ参加します。 ・社会教育主事会での検討内容を参考にして実践的な取り組みを進めます。 ※研修会の回数（平成26年度）：年6回				指標	
						研修会の回数	
						目標	
						平成28年度	
						年5回	
一般会計						平成29年度	
定例・定型的事業						年5回	
継続						平成30年度	
施策のねらい						年5回	
3 効果的な社会教育の推進						平成30年度	
						年5回	
						平成30年度	
						年5回	
事業実施年度		28年度		29年度		30年度	
事業主体		市		平成28～30年度の事業費		4,890 千円	
政策共通認識		□ 共生社会 □ 環境 □ 協働 ■ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域		■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出					

事業名		事業概要				指標・目標	
社会教育講座の開催		・社会的要請課題や地域課題など市民の学習ニーズに即した講座を企画し、より多くの市民が学習できる機会の充実を図ります。 ※講座開催回数（平成26年度）：年3回				指標 講座開催回数	
一般会計						目標	
定例・定型的事業	継続					平成28年度 年3回	
施策のねらい						平成29年度 年3回	
3 効果的な社会教育の推進						平成30年度 年3回	
		事業実施年度	28年度	29年度	30年度		
事業主体	市	平成28～30年度の事業費		424 千円		平成30年度 年3回	
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 ■ 協働 ■ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
社会的要請課題をテーマとした事業（公民館）		・環境、平和、情報化、国際化、障害者等理解などの社会や地域の現況を見据えた事業を定期的に開催します。 ・高齢者の増加が見込まれる中、地域活動参加のためのきっかけづくりを支援する事業を実施します。 ※実施事業数（公民館5館合計）（平成26年度）：58回				指標 開催事業数（年間）（公民館5館合計）	
						目標	
						平成28年度 55事業	
						平成29年度 55事業	
一般会計							
定例・定型的事業	継続						
施策のねらい							
3 効果的な社会教育の推進							
		事業実施年度	28年度	29年度	30年度		
事業主体	市	平成28～30年度の事業費		2,625 千円		平成30年度 55事業	
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 ■ 協働 ■ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湖北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
学習成果の還元事業（公民館）		・学習成果を生かす機会や発表、交流の場を提供するため、市民、利用者主体の公民館まつりなどの事業を実施します。 ※開催事業数（平成26年度）（公民館5館）：17事業				指標 開催事業数（年間）（公民館5館合計）	
						目標 平成28年度 17事業	
						平成29年度 17事業	
						平成30年度 17事業	
						平成30年度 17事業	
一般会計							
定例・定型的事業		継続					
施策のねらい							
4 地域の学習拠点としての公民館の充実							
		事業実施年度		28年度	29年度	30年度	
事業主体		市		平成28～30年度の事業費		2,724 千円	
政策共通認識		■ 共生社会		□ 環境	■ 協働	■ 生涯学習	□ 安全・安心
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標			
ちがさき丸ごとふるさと発見博物館事業		・市民が住まう茅ヶ崎を知り、学び、活用するために必要な事業メニューを市民とともに企画し、運営します。 ※ちがさき丸ごとふるさと発見博物館講座の実施回数（平成26年度）：2回				指標 ちがさき丸ごとふるさと発見博物館講座の実施回数			
						目標 平成28年度 2回			
						平成29年度 2回			
		一般会計						平成30年度 2回	
定例・定型的事業		継続							
施策のねらい									
5 文化財の保護・活用									
		事業実施年度		28年度	29年度	30年度			
事業主体		市		平成28～30年度の事業費		2,402 千円		平成30年度 2回	
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 ■ 協働 ■ 生涯学習 ■ 安全・安心							
地域		■ 全市		□ 茅ヶ崎	□ 南湖	□ 海岸	□ 鶴嶺東	□ 鶴嶺西	□ 湘南
				□ 松林	□ 湘北	□ 小和田	□ 松浪	□ 浜須賀	□ 小出

事業名		事業概要				指標・目標	
遺跡調査資料整理・保存事業		・出土資料の適正な維持管理のための収蔵整理を行います。 ・遺跡調査の成果を広く公開するため遺跡調査発表展示会等を開催します。 ※遺跡調査発表会の開催（平成26年度）：１回				指標 遺跡調査発表会の開催	
一般会計						目標	
定例・定型的事業	継続					平成28年度 年1回	
施策のねらい						平成29年度 年1回	
5 文化財の保護・活用						平成30年度 年1回	
		事業実施年度	28年度	29年度	30年度		
事業主体	市	平成28～30年度の事業費	12,690 千円			平成30年度 年1回	
政策共通認識		□ 共生社会 □ 環境 ■ 協働 ■ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

施策目標：6

思いやりの心とたくましく生きぬく力を育てる（青少年課）

施策のねらい

1 青少年育成の推進

子どもたちが安全で安心な環境の中で、のびのびと育ち、たくましく成長することができるよう、家庭、地域、学校の連携による青少年育成を進め、子どもたちが地域におけるさまざまな世代の人々と交流する機会を創出します。

2 子どもたちの居場所づくり

子どもたちが、安全で安心に遊ぶことができる居場所づくりとしての小学校ふれあいプラザ、青少年広場、青少年会館などの整備や、さまざまな体験活動ができる野外研修施設の整備を進めます。

施策目標における3年間の目指すべき方向性

小学校ふれあいプラザ事業については、全校立ち上げとともに、学習アドバイザーの活用等、プラザ事業内容のさらなる充実を図ります。

子どもたちの居場所や青少年の活動拠点となり、「ものづくり体験」等さまざまな体験活動ができる（仮称）茅ヶ崎公園体験学習施設の整備を進めます。

指標 施策目標の達成状況を把握する目安となる数値

指標名	現状値	平成 30 年度の目標値	指標の説明・意図
小学校ふれあいプラザ利用者数	29,475 人 （平成 26 年度）	31,600 人	小学生の放課後の安全・安心な遊び場として、地域の方々の参画を得て開設している「小学校ふれあいプラザ」の利用者数により青少年育成事業の実施状況を測ります。平成 30 年度の全校合わせての延べ開設日数を 1,858 日、1 日平均利用日数を 17 人とし、31,600 人を目標としました。
小学校ふれあいプラザ開設校数	18 校 （平成 26 年度）	19 校	地域、学校、保護者が連携し地域の中で小学生の放課後の安全・安心な遊び場として開設している「小学校ふれあいプラザ」の開設校数により、利用者数と合わせて青少年育成事業の実施状況を測ります。平成 26 年度 18 校に開設していた「小学校ふれあいプラザ」の開設校を市内全ての小学校 19 校とすることを目標としました。
青少年会館の利用者数	162,184 人 （平成 26 年度）	117,000 人	青少年の活動の場のひとつである青少年会館の利用者数から、青少年の活動状況を測ります。平成 30 年度の目標値については、海岸青少年会館は平成 30 年度末に体験学習施設としての開館を予定しており、複合施設となることを考慮し設定しました。

第3次実施計画事業一覧表

○ 一般会計

政策的事業	5 件	定例・定型的事業	26 件	事業費（職員給与費除く）	1,436 百万円
-------	-----	----------	------	--------------	-----------

No.	事業の性質	施策のねらい	事業名（★…主な第3次実施計画事業として掲載している事業）	平成28～30年度の事業費
1	政策	1	茅ヶ崎ゆかりの宇宙飛行士関連事業（ゆかりのまちサミット及び宇宙記念日関連事業）	3,258 千円
2	政策	2	★（仮称）茅ヶ崎公園体験学習施設整備事業	1,140,007 千円
3	政策	2	海岸青少年会館移転事業	20,541 千円
4	政策	2	★ 子どもの家の管理業務委託	61,838 千円
5	政策	2	野外研修施設等の検討	— 千円
6	定例	1	★ インターネット有害情報監視事業	3,252 千円
7	定例	1	ジュニアリーダー養成講座の開催	263 千円
8	定例	1	はまかぜコンサート・海青祭の開催（海岸青少年会館）	287 千円
9	定例	1	各種協議会と青少年対策に関する連絡調整	11,811 千円
10	定例	1	茅ヶ崎ゆかりの宇宙飛行士関連事業（宇宙飛行士展示コーナー関連事業費）	11,641 千円
11	定例	1	子どもの安全を守る都市の推進	5,351 千円
12	定例	1	子ども会育成事業	187 千円
13	定例	1	子ども大会の実施	3,885 千円
14	定例	1	自然体験教室の開催	3,282 千円
15	定例	1	成人のつどい事業	3,814 千円
16	定例	1	青少年をとりまく環境調査及び浄化活動	— 千円
17	定例	1	青少年育成のつどいの開催	936 千円
18	定例	1	青少年育成指導者研修	115 千円
19	定例	1	★ 青少年指導員活動支援	9,902 千円
20	定例	1	青少年対策基本方針の進行管理	— 千円
21	定例	1	青少年問題協議会の開催	1,005 千円
22	定例	1	遊び体験教室の開催	1,139 千円
23	定例	2	その他会館運営に関する管理業務（青少年会館・海岸青少年会館）	63,332 千円
24	定例	2	会館管理業務委託（青少年会館・海岸青少年会館）	20,257 千円
25	定例	2	子どもの家の運営管理	1,254 千円
26	定例	2	★ 小学校ふれあいプラザ事業	48,732 千円
27	定例	2	★ 青少年会館事業（青少年会館・海岸青少年会館）	4,338 千円
28	定例	2	青少年広場の運営管理	14,392 千円
29	定例	2	冒険遊び場事業	1,023 千円
30	定例	-	災害応急対策活動	— 千円
31	定例	-	庁内共通事務	— 千円

※事業の性質：「政策」…政策的事業・「定例」…定例・定型的事業

主な第3次実施計画事業

事業名		事業概要				指標・目標	
(仮称) 茅ヶ崎公園体験学習施設整備事業		・ 海岸青少年会館・福祉会館複合施設再整備基本計画に基づき、茅ヶ崎公園内に世代間交流の場として新たな機能を備えた体験学習施設を整備します。 ※事業の進捗状況（平成26年度）：関係機関との協議				指標	
						事業の進捗状況	
						目標	
						平成28年度	
						基本・実施設計 関係課との協議	
一般会計						平成29年度	
政策的事業	継続					体験学習施設 建設工事着手	
施策のねらい						平成30年度	
2 子どもたちの居場所づくり						体験学習施設 竣工	
		事業実施年度	28年度	29年度	30年度		
事業主体	市	平成28～30年度の事業費	1,140,007 千円			平成30年度	
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 ■ 協働 ■ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	■ 全市						
	□ 茅ヶ崎	□ 南湖	□ 海岸	□ 鶴嶺東	□ 鶴嶺西	□ 湘南	
	□ 松林	□ 湘北	□ 小和田	□ 松浪	□ 浜須賀	□ 小出	

事業名		事業概要				指標・目標			
子どもの家の管理業務委託		・小学生や幼児が地域の中で安全で安心して遊ぶことができる居場所として、子どもの家の管理及び運営を行います。 ※子どもの家利用者数（平成26年度）：32,544人				指標 子どもの家利用者数			
						目標			
						平成28年度 32,960人			
						平成29年度 33,280人			
						平成30年度 33,600人			
一般会計									
政策的事業		継続							
施策のねらい									
2 子どもたちの居場所づくり									
		事業実施年度		28年度	29年度	30年度			
事業主体		市		平成28～30年度の事業費		61,838 千円			
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 ■ 協働 ■ 生涯学習 □ 安全・安心							
地域		□ 全市		■ 茅ヶ崎	□ 南湖	□ 海岸	■ 鶴嶺東	□ 鶴嶺西	■ 湘南
				□ 松林	□ 湘北	■ 小和田	■ 松浪	□ 浜須賀	■ 小出

事業名		事業概要				指標・目標	
インターネット有害情報監視事業		・インターネットの有害情報から子どもたちを守るため、パソコン等を使用しインターネット上の情報を監視します。 ・個人の誹謗中傷や個人情報の漏洩などが特定できるものについては、学校と連携し、サイト管理者へ削除などの対応をします。 ※小・中学校に係るインターネット上の検索件数（平成26年度）：6,711件/月				指標	
						小・中学校に係るインターネット上の検索件数	
						目標	
						平成28年度 2,500件/月	
一般会計		※小・中学校に係るインターネット上の検索件数（平成26年度）：6,711件/月				平成29年度 2,500件/月	
定例・定型の事業	継続					平成30年度 2,500件/月	
施策のねらい						平成30年度 2,500件/月	
1 青少年育成の推進							
		事業実施年度	28年度	29年度	30年度		
事業主体	市	平成28～30年度の事業費		3,252 千円		平成30年度 2,500件/月	
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標													
青少年指導員活動支援		・地域において、青少年健全育成を進め、「青少年支援・指導者」の担い手となる青少年指導員の資質を高めるとともに、継続的な活動を展開していくため、青少年指導員の活動を支援します。 ※愛のパトロール実施地区数（平成26年度）：19学区 <table><tr><th>事業実施年度</th><th>28年度</th><th>29年度</th><th>30年度</th></tr><tr><td colspan="4">平成28～30年度の事業費</td></tr><tr><td colspan="4">9,902 千円</td></tr></table>				事業実施年度	28年度	29年度	30年度	平成28～30年度の事業費				9,902 千円				指標 愛のパトロール実施地区数	
事業実施年度	28年度					29年度	30年度												
平成28～30年度の事業費																			
9,902 千円																			
一般会計						目標 平成28年度 19学区													
定例・定型の事業	継続																		
施策のねらい						平成29年度 19学区													
1 青少年育成の推進						平成30年度 19学区													
事業主体	市																		
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 ■ 協働 ■ 生涯学習 ■ 安全・安心																	
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出																		

事業名		事業概要				指標・目標	
小学校ふれあいプラザ事業		・学校施設において、パートナー（安全管理員）が見守る中、学校施設において異年齢児童間の交流を通じた自主性を養います。 ・コーディネーター等の運営委員が、学校・地域・保護者と連携し、計画的に安全な居場所づくりを推進します。 ・学習アドバイザーの活用等により、子どもたちが参加しやすい事業を展開します。 ※年間参加人数/実施校数（平成26年度）：29,475人/18校				指標 年間参加人数/実施校数	
一般会計						目標	
定例・定型の事業	継続拡充					平成28年度 31,200人/19校	
施策のねらい						平成29年度 31,400人/19校	
2 子どもたちの居場所づくり						平成30年度 31,600人/19校	
		事業実施年度	28年度	29年度	30年度		
事業主体	市	平成28～30年度の事業費		48,732 千円			
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 ■ 協働 ■ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事 業 名		事 業 概 要				指標・目標	
青少年会館事業（青少年会館・海岸青少年会館）		・青少年会館、海岸青少年会館において、青少年事業、親子事業、音楽事業、地域交流事業、開放事業などを開催します。 ※開催事業数（平成26年度）：121事業				指標 開催事業数	
一般会計						目標	
定例・定型的事業	継続					平成28年度 122事業	
施策のねらい						平成29年度 122事業	
2 子どもたちの居場所づくり						平成30年度 122事業	
		事業実施年度	28年度	29年度	30年度		
事業主体	市	平成28～30年度の事業費		4,338 千円			
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 ■ 協働 ■ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

施策目標：7

地域社会を支える情報拠点としての機能をたかめる（図書館）

□ 施策のねらい

1 図書館の充実

だれもが利用しやすい図書館を目指し、施設設備、図書館資料、データベースや自主事業などの充実を図るとともに、市民の読書支援、学習支援を行います。

2 読書に親しむ環境づくり

お話し会などを通して、子どもたちから読書に親しめるよう環境づくりを進めます。

□ 施策目標における3年間の目指すべき方向性

施設の維持管理に努めながら、みんなにやさしい図書館を目指し、図書館未利用者へ向けた働きかけを引き続き実施します。また、図書館システム及び配送ネットワークを活用し、身近で利用しやすいサービスの提供を目指します。

指標 施策目標の達成状況を把握する目安となる数値

指標名	現状値	平成30年度の目標値	指標の説明・意図
図書館利用者数	297,412 人 (平成26年度)	330,000 人	情報拠点として市民にどのくらい利用されているかを測ります。既存施設の活用や身近な施設の利便性を高めるなどの施策により、第2次実施計画と同数値を目指します。
図書館の市民登録率	54.16% (平成26年度)	55.0%	市の人口に対して登録者の占める割合により、図書館利用が市民にどれだけ普及しているかを測ります。既存施設の活用や身近な施設の利便性を高めるなどの施策により、登録者の26年度の数値に対して約1%の増加を目指します。

第3次実施計画事業一覧表

○ 一般会計

政策的事業		一 件	定例・定型的事業	14 件	事業費（職員給与費除く）	364 百万円
No.	事業の性質	施策のねらい	事業名（★…主な第3次実施計画事業として掲載している事業）			平成28～30年度の事業費
1	定例	1	施設維持管理及び運営事業（本館・分館）			72,683 千円
2	定例	1	会議室の利用貸出事業			— 千円
3	定例	1	図書館協議会事業			408 千円
4	定例	1	★ 図書館資料収集事業（本館・分館）			88,652 千円
5	定例	1	★ 図書館利用及び貸出事業（本館・分館）			110,332 千円
6	定例	1	移動図書館運営事業			2,882 千円
7	定例	1	★ 図書室、図書コーナー運営事業			75,760 千円
8	定例	1	★ 図書館自主事業（本館・分館）			516 千円
9	定例	1	★ 視聴覚資料事業			5,517 千円
10	定例	1	各図書館協会事務事業			171 千円
11	定例	1	図書館の相互利用事業			120 千円
12	定例	2	★ 子ども読書活動推進事業			6,727 千円
13	定例	—	災害応急対策活動（本館・分館）			— 千円
14	定例	—	庁内共通事務（本館・分館）			239 千円

※事業の性質：「政策」…政策的事業・「定例」…定例・定型的事業

主な第3次実施計画事業

事 業 名		事 業 概 要				指標・目標	
図書館資料収集事業（本館・分館）		・図書購入のための選定委員会により、市民ニーズや社会状況に対応した図書資料を選定し、購入します。 ※購入図書冊数（平成26年度） 本館：15,191冊 分館：2,126冊				指標 購入図書冊数	
						目標	
						平成28年度 本館13,750冊 分館1,800冊以上	
						平成29年度 本館13,750冊 分館1,800冊以上	
一般会計						平成30年度 本館13,750冊 分館1,800冊以上	
定例・定型的事業		継続					
施策のねらい							
1 図書館の充実		事業実施年度		28年度	29年度	30年度	
事業主体		市		平成28～30年度の事業費		88,652 千円	
政策共通認識		☐ 共生社会		☐ 環境	☐ 協働	☒ 生涯学習	☐ 安全・安心
地域	☒ 全市	☐ 茅ヶ崎	☐ 南湖	☐ 海岸	☐ 鶴嶺東	☐ 鶴嶺西	☐ 湘南
		☐ 松林	☐ 湘北	☐ 小和田	☐ 松浪	☐ 浜須賀	☐ 小出

事業名		事業概要				指標・目標	
図書館利用及び貸出事業（本館・分館）		・利用者の利便性を高め、読書相談やレファレンスサービス等を充実させ、図書館環境を整えます。 ※資料貸出点数（平成26年度） 本館：637,617点 分館：125,405点				指標 資料貸出点数	
						目標	
						平成28年度 本館640,000点 分館145,500点	
						平成29年度 本館640,000点 分館145,500点	
						平成30年度 本館640,000点 分館145,500点	
一般会計							
定例・定型的事業		継続拡充					
施策のねらい							
1 図書館の充実		事業実施年度		28年度	29年度	30年度	
事業主体		市		平成28～30年度の事業費		110,332 千円	
政策共通認識		■ 共生社会		□ 環境	□ 協働	■ 生涯学習 □ 安全・安心	
地域		■ 全市		□ 茅ヶ崎	□ 南湖	□ 海岸	□ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湖北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出

事業名		事業概要				指標・目標	
図書室、図書コーナー運営事業		・市民の学習ニーズに応えるため、地域の要望に応じた資料を収集し、身近な図書施設として運営します。 ※貸出点数（分室合計）（平成26年度）：217,469点				指標 貸出点数（分室合計）	
						目標	
						平成28年度 250,000点	
						平成29年度 250,000点	
一般会計							
定例・定型的事業		継続拡充					
施策のねらい							
1 図書館の充実							
		事業実施年度	28年度	29年度	30年度		
事業主体	市	平成28～30年度の事業費	75,760 千円			平成30年度 250,000点	
政策共通認識		■ 共生社会 □ 環境 □ 協働 ■ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事 業 名			事 業 概 要				指標・目標	
図書館自主事業（本館・分館） 一般会計 定例・定型的事業 継続 施策のねらい 1 図書館の充実			・市民の自主的な学習活動の契機と推進による新たな利用者層の開拓のため、講座や教室を開催します。 ※自主事業の開催数（平成26年度） 本館：36事業 分館：3事業 事業実施年度 28年度 29年度 30年度 平成28～30年度の事業費 516 千円				指標 自主事業の開催数	
							目標	
							平成28年度	
							本館25事業 分館3事業	
							平成29年度	
本館25事業 分館3事業								
事業主体			市		平成28～30年度の事業費		平成30年度	
政策共通認識			☐ 共生社会		☐ 環境		☐ 協働	
			☒ 生涯学習		☐ 安全・安心		本館25事業 分館3事業	
地域			☒ 全市		☐ 茅ヶ崎		☐ 南湖	
			☐ 松林		☐ 湖北		☐ 小和田	
					☐ 海岸		☐ 鶴嶺東	
					☐ 鶴嶺西		☐ 湘南	
					☐ 松浪		☐ 浜須賀	
					☐ 小出			

事業名		事業概要				指標・目標	
視聴覚資料事業		・市民の要望を把握して視聴覚資料の収集及び貸出を行います。 ・映画会等事業を実施します。 ※映画会の実施回数（平成26年度）：38回				指標 映画会の実施回数	
一般会計						目標	
定例・定型的事業	継続					平成28年度 37回	
施策のねらい						平成29年度 37回	
1 図書館の充実						平成30年度 37回	
		事業実施年度	28年度	29年度	30年度		
事業主体	市	平成28～30年度の事業費		5,517 千円		平成30年度 37回	
政策共通認識		□ 共生社会 □ 環境 □ 協働 ■ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事 業 名		事 業 概 要				指標・目標	
子ども読書活動推進事業		・子ども読書活動の普及と啓発のために、読み聞かせの手法と絵本の配付を乳幼児とその保護者に対して行うブックスタート事業を実施します。 ・学校図書館等との連携事業を実施します。 ・事業に携わるボランティア団体の資質の向上のため、研修等を実施します。 ※ブックスタートパック配布率（平成26年度）：77.1%				指標 ブックスタート パック配布率	
一般会計						目標 平成28年度 80%	
定例・定型的事業	継続					平成29年度 80%	
施策のねらい						平成30年度 80%	
2 読書に親しむ環境づくり		事業実施年度	28年度	29年度	30年度	平成30年度 80%	
事業主体	市	平成28～30年度の事業費		6,727 千円			
政策共通認識		□ 共生社会 □ 環境 ■ 協働 ■ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

施策目標：8

教育理念を実現する政策を推進する（教育政策課）

施策のねらい

1 教育力の向上

茅ヶ崎の教育力が、学校教育の充実とともに、社会教育の展開により、幼児期の教育が振興され、地域の教育力や家庭の教育力が向上し、次世代の育成に向けての推進力となるよう取り組みます。

2 基礎研究に基づく重点施策の立案と事業展開

茅ヶ崎の教育がその効果を発揮できるよう、基礎研究に基づいて重点施策を立案し、事業を展開します。

3 教育マネジメントの推進

教育行政を効率的・効果的に運営するため、政策・施策の点検・評価を実施し、総合的な進行管理を行います。

施策目標における3年間の目指すべき方向性

教育に関する大綱に基づき、教育行政を効果的に推進します。教育基本計画審議会を開催し、教育委員会の事務の点検・評価と教育基本計画の進行管理を一体的に行います。地域や市民のニーズに沿った教育施策を展開するため、市民、教職員、教育委員会事務局職員により地域教育懇談会を開催し、教育に関する課題について意見交換を行います。

指標 施策目標の達成状況を把握する目安となる数値

指標名	現状値	平成30年度の目標値	指標の説明・意図
地域教育懇談会の参加者数	345人 (平成26年度)	448人	市における教育の現状と市民ニーズを把握し、茅ヶ崎市が進める教育政策の基礎資料とするとともに、情報の共有化を図り、相互理解を深めるための地域教育懇談会への参加者数を測ります。平成26年度参加者数345人に対し、30年度までに100人程度の増加を目指します。
教育施策の点検評価の結果の施策への反映数	9施策 (平成26年度)	9施策	点検・評価の結果は、施策や事務事業などの企画立案作業における重要な情報です。この結果を活用し、当該年度以降に適切に反映することで教育基本計画の理念を実現するための施策を推進します。教育基本計画に位置付けられた9つの施策全てに知見を活用することを目標としました。

第3次実施計画事業一覧表

○ 一般会計

政策的事業	2 件	定例・定型的事業	12 件	事業費（職員給与費除く）	4 百万円
-------	-----	----------	------	--------------	-------

No.	事業の性質	施策のねらい	事業名（★…主な第3次実施計画事業として掲載している事業）	平成28～30年度の事業費
1	政策	2	教育施設等の再整備の推進	— 千円
2	政策	3	★教育に関する大綱の推進	— 千円
3	定例	1	学校規模の適正化	— 千円
4	定例	1	学齢児童・生徒数の推計	— 千円
5	定例	1	★地域教育懇談会に係る事務	190 千円
6	定例	2	家庭教育応援プログラム推進事務	— 千円
7	定例	2	教育基本計画第4次実施計画の策定	— 千円
8	定例	2	教育施策の企画調整	460 千円
9	定例	3	★教育基本計画の推進	2,046 千円
10	定例	3	教育施設整備の総合調整	— 千円
11	定例	—	教育委員会内共回事務	622 千円
12	定例	—	災害応急対策活動	— 千円
13	定例	—	庁内共回事務	255 千円
14	定例	—	部内調整事務	— 千円

※事業の性質：「政策」…政策的事業・「定例」…定例・定型的事業

主な第3次実施計画事業

事業名		事業概要				指標・目標			
教育に関する大綱の推進		・地域の実情に応じた総合的な施策として定めた、教育の目標や施策の根本的な方針である「茅ヶ崎市教育大綱」を推進します。 ※平成27年度より開始				指標 総合教育会議へ進 ちよく状況（点 検・評価）の報告			
						目標 平成28年度 1回			
						平成29年度 1回			
						平成30年度 1回			
						平成30年度 1回			
一般会計									
政策的事業		新規							
施策のねらい									
3 教育マネジメントの推進		事業実施年度		28年度	29年度	30年度			
事業主体		市		平成28～30年度の事業費		一 千円		平成30年度 1回	
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 ■ 協働 ■ 生涯学習 ■ 安全・安心							
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出								

事業名		事業概要				指標・目標	
地域教育懇談会に係る事務		・教育委員会の取り組みや、教育的な話題をテーマとした情報提供を行います。 ・茅ヶ崎市の実情に沿った教育施策の基礎資料とするため、地域に出向き、地域の方々、学校関係者、行政職員などが少人数のグループにわかれ、教育についての意見交換を実施します。 ※地域教育懇談会の開催回数（平成26年度）：6回				指標 地域教育懇談会の開催回数	
一般会計						目標	
定例・定型の事業	継続					平成28年度 10回	
施策のねらい						平成29年度 10回	
1 教育力の向上						平成30年度 10回	
		事業実施年度	28年度	29年度	30年度		
事業主体	市	平成28～30年度の事業費		190 千円		平成30年度 10回	
政策共通認識		□ 共生社会 □ 環境 ■ 協働 ■ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	■ 全市	□ 茅ヶ崎	□ 南湖	□ 海岸	□ 鶴嶺東	□ 鶴嶺西	□ 湘南
		□ 松林	□ 湘北	□ 小和田	□ 松浪	□ 浜須賀	□ 小出

事業名		事業概要				指標・目標	
教育基本計画の推進		・地方教育行政の組織及び運営に関する法律に定められた「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」と教育基本計画の進行管理を一体的に実施します。 ・教育基本計画審議会からの外部評価を施策に反映させます。 ※教育委員会の点検・評価の作成時期（平成26年度）：8月				指標 教育委員会の点検・評価の作成時期	
一般会計						目標 平成28年度 8月	
定例・定型的事業	継続					平成29年度 8月	
施策のねらい						平成30年度 8月	
3 教育マネジメントの推進		事業実施年度	28年度	29年度	30年度	平成30年度 8月	
事業主体	市	平成28～30年度の事業費		2,046 千円			
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 ■ 協働 ■ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

施策目標：9

子どもの健やかな育ちを促す教育を研究し支援する（教育センター）

□ 施策のねらい

1 子どもの成長発達についての調査・研究

幼児期からの成長過程の中で、どのような経験をすることが豊かな人間性と自律性をはぐくむことにつながっていくのか、教育的側面から研究します。

2 教育課題についての調査・研究

子どもたちの学習や生活の状況を把握し、幼児期の教育のあり方など教育課題の調査・研究を進め、学校、家庭、地域の教育力の向上に向けた新たな取り組みの展開につなげます。

3 教職員の研修機会の提供と学校の支援

児童・生徒の学び続ける意欲と豊かな人間性をはぐくむために必要な教育者としての資質や指導力向上に向けた研修機会の提供と学校支援を実施します。

4 質の高い授業づくりの支援

学習内容・指導方法に関する実際の授業研究を踏まえ、質の高い授業の実践を目指した学校づくりを実現するための研修を展開します。

5 相談・支援体制の充実

子どもたちが抱える問題や課題の解決のために必要な相談・支援体制を充実します。特に、教育相談について、相談者のニーズに応じた総合的・横断的な取り組みができる体制を構築します。

□ 施策目標における3年間の目指すべき方向性

家庭教育支援を目指した出前講座等など、今後も公立保育園や青少年育成推進協議会等とより連携を図り内容を充実していきます。

教職員の研修については、研修体制のあり方を多角的に見直し検討を行います。

児童・生徒が抱える悩みや課題が複雑化する中で、安心して学校生活を送れるよう、青少年教育相談室等と連携を図りながら、心の教育相談員に気軽に相談できる環境を整えます。

指標 施策目標の達成状況を把握する目安となる数値

指標名	現状値	平成 30 年度の目標値	指標の説明・意図
教育関係職員の研修等の参加者数	2,233 人 (平成 26 年度)	2,300 人	初任者研修をはじめとする基本研修体系の見直しの中で、関係機関と連携しながら教育関係職員の研修を充実させるとともに、家庭教育・幼児期の教育に関する講座等の研修機会を提供することで、参加者数の維持を目標としました。
青少年教育相談室の相談件数	2,793 件 (平成 26 年度)	2,800 件	心の教育相談員の勤務日数拡充等により、各学校における相談機能の充実を図りました。そのため、青少年教育相談室での相談件数は現状を維持しつつ、さらに深刻化する相談内容に丁寧に対応していくことを目標としました。
市民・保護者の講座等の参加者数	710 人 (平成 26 年度)	700 人	子どもの成長発達についての調査・研究を進めることにより、子どもの健やかな育ちを促すために必要な内容の講座を平成 23 年度から開催してきましたが、平成 24 年度に、市民・保護者にとってより身近な会場で開催する出前講座を開始したことから、参加者数の増加となりました。平成 26 年度は、3 つの青少年育成推進協議会との共催による講座の複数回の開催により参加者数が特に多かったため、現状値の維持を目標としました。

第3次実施計画事業一覧表

○ 一般会計

政策的事業	2 件	定例・定型的事業	29 件	事業費（職員給与費除く）	204 百万円
-------	-----	----------	------	--------------	---------

No.	事業の性質	施策のねらい	事業名（★…主な第3次実施計画事業として掲載している事業）	平成28～30年度の事業費
1	政策	3	教科用図書整備事業	— 千円
2	政策	3	教職員等の人材育成事業（中核市関連）	— 千円
3	定例	1	★「子どもの教育」講座・講演事業	1,592 千円
4	定例	1	教育情報ホームページ等広報事業	— 千円
5	定例	1	研究研修管理運営事業	11,737 千円
6	定例	1	保幼小中等教育連携研究事業	153 千円
7	定例	1	★幼児期の教育に関する基礎研究・研修事業	5,164 千円
8	定例	2	茅ヶ崎教育史研究事業	235 千円
9	定例	2	茅ヶ崎教育調査研究推進事業	813 千円
10	定例	2	子どもたちの学習・生活状況に関する調査研究事業	238 千円
11	定例	2	神奈川県教育研究所連盟関係研究推進事業	246 千円
12	定例	2	調査研究成果の発信啓発事業	77 千円
13	定例	3	教育研究会等交付金事業	13,888 千円
14	定例	3	★初任者研修等教職員人材育成事業	21,437 千円
15	定例	3	神奈川県立総合教育センター等関係研修推進事業	— 千円
16	定例	4	トワイライトセミナー事業	— 千円
17	定例	4	★学校内研修支援事業	9,218 千円
18	定例	4	教育資料・物品貸出事業	— 千円
19	定例	4	教育情報・資料収集整理事業	— 千円
20	定例	4	顕微鏡観察用微小生物提供事業	— 千円
21	定例	4	質の高い授業実践講座事業	153 千円
22	定例	4	授業改善に関する調査研究事業	246 千円
23	定例	4	図書刊行事業	11,362 千円
24	定例	4	創意工夫研究作品展事業	728 千円
25	定例	5	あすなろ教室（適応指導教室）事業	22,795 千円
26	定例	5	スクールカウンセラー活用事業	166 千円
27	定例	5	★心の教育相談事業	66,250 千円
28	定例	5	青少年教育相談管理運営事業	895 千円
29	定例	5	★青少年教育相談事業	36,110 千円
30	定例	-	災害応急対策活動	— 千円
31	定例	-	庁内共通事務	— 千円

※事業の性質：「政策」…政策的事業・「定例」…定例・定型的事業

※中核市関連：中核市移行に伴い新たに取り組む事業。具体的な事業費については、移行に向けた準備の中で明らかにしていきます。

主な第3次実施計画事業

事業名		事業概要				指標・目標	
「子どもの教育」講座・講演事業		・茅ヶ崎市の教育の現状を把握し、市長部局及び教育委員会内の関係機関と連携しながら、市民の教育の意識醸成につながる内容の講座を開催します。 ・子育ての情報を必要としている方、子育て中の市民の方が参加しやすい身近な場所で講座を実施します。 ※講座講演参加者数（子育て子育て講座、子育て子育て出前講座、教育講演会）（平成26年度）：875人（青少年育成推進協議会及び中学校と共催した講座の参加者241人を含む）				指標 講座講演参加者数	
一般会計						目標 平成28年度 600人	
定例・定型的事業	継続					平成29年度 600人	
施策のねらい						平成30年度 600人	
1 子どもの成長発達についての調査・研究		事業実施年度	28年度	29年度	30年度	平成30年度 600人	
事業主体	市	平成28～30年度の事業費		1,592 千円			
政策共通認識		■ 共生社会 □ 環境 □ 協働 ■ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事 業 名		事 業 概 要				指標・目標	
幼児期の教育に関する基礎研究・研修事業		・ 健やかな心身の調和的な発達に必要な教育のあり方等について、幼児期を核とした基礎研究を行います。 ・ 響きあい教育セミナー・響きあい教育シンポジウム・ 幼児教育研修会を開催します。 ※セミナー等の参加者数（平成26年度）：620人				指標 セミナー等の参加者数	
一般会計						目標	
定例・定型的事業						平成28年度 600人	
継続							
施策のねらい						平成29年度 600人	
1 子どもの成長発達についての調査・研究							
		事業実施年度	28年度	29年度	30年度		
事業主体	市	平成28～30年度の事業費		5,164 千円		平成30年度 600人	
政策共通認識		■ 共生社会 □ 環境 □ 協働 ■ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標									
初任者研修等教職員人材育成事業		・「学校内研修支援事業」との連携を図り、新採用から4年経験者までの若手教員を対象とした5年間の継続的な研修を行います。 ・初任者研修から1年経験者研修までの2年間をつながりのある研修として実施するために、市内32校を4ブロックに編成し、ブロック内で交流する実践研修を実施します。 ※研修対象者数（平成26年度）：162人				指標 研修対象者数									
						目標 平成28年度 200人									
						平成29年度 200人									
						平成30年度 200人									
一般会計		事業実施年度				28年度		29年度		30年度					
定例・定型的事業						継続									
施策のねらい															
3 教職員の研修機会の提供と学校の支援															
事業主体		市		平成28～30年度の事業費		21,437 千円									
政策共通認識		■ 共生社会		□ 環境		□ 協働		■ 生涯学習		□ 安全・安心					
地域		■ 全市		□ 茅ヶ崎		□ 南湖		□ 海岸		□ 鶴嶺東		□ 鶴嶺西		□ 湘南	
				□ 松林		□ 湘北		□ 小和田		□ 松浪		□ 浜須賀		□ 小出	

事業名		事業概要				指標・目標	
学校内研修支援事業		・校内研究・研修のテーマと関連づけした学習指導講座を開催します。 ・学校での実践の場を中心とした学びを創る教職員人材育成の支援を行います。 ※学習指導講座参加者数（平成26年度）：1,124人				指標 学習指導講座参加者数	
一般会計						目標 平成28年度 1,100人	
定例・定型的事業	継続					平成29年度 1,100人	
施策のねらい						平成30年度 1,100人	
4 質の高い授業づくりの支援						平成30年度 1,100人	
		事業実施年度	28年度	29年度	30年度		
事業主体	市	平成28～30年度の事業費		9,218 千円			
政策共通認識		■ 共生社会 □ 環境 □ 協働 ■ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
心の教育相談事業		・市内全小・中学校32校に心の教育相談員を配置し、児童・生徒の悩み相談・話し相手となり、ストレスを和らげることをとおして、心に安らぎを与えます。 ・児童・生徒にとって相談しやすい環境を整えます。 ※心の教育相談員の勤務日数（平成26年度）：144日				指標 心の教育相談員の勤務日数	
						目標 平成28年度 160日	
						平成29年度 160日	
						平成30年度 160日	
一般会計							
定例・定型的事業		継続					
施策のねらい							
5 相談・支援体制の充実							
		事業実施年度		28年度	29年度	30年度	
事業主体		市		平成28～30年度の事業費		66,250 千円	
政策共通認識		■ 共生社会 □ 環境 □ 協働 ■ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域		■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出					

事 業 名		事 業 概 要				指標・目標	
青少年教育相談事業		・電話相談（青少年相談、一般教育相談、「こころ」、「いじめ」、特別支援相談）及び面接相談を実施します。 ・学校及び適応指導教室に通うことができない児童・生徒へ不登校児童・生徒訪問相談を実施します。 ・面接相談に係る児童・生徒を対象に、心理相談員が学校を訪問します。 ※電話・面接相談等の非常勤嘱託員（青少年教育相談員）数（平成26年度）：10人				指標 電話・面接相談等の非常勤嘱託員（青少年教育相談員）数	
一般会計						目標	
定例・定型的事業						平成28年度 10人	
継続						平成29年度 10人	
施策のねらい						平成30年度 10人	
5 相談・支援体制の充実							
事業実施年度		28年度		29年度		30年度	
事業主体		市		平成28～30年度の事業費 36,110 千円			
政策共通認識		■ 共生社会 □ 環境 □ 協働 ■ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域		■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出					

政策目標
3

次代に向かって教育環境ゆたかなまち
(教育総務部)

目指すべき将来像

教育委員会と市長との密接な連携のもとで、より広い視野から教育方針を決定している
一貫した教育方針を基に、安定した継続性のある施策を実施している
教育行政の推進と学校教育環境の充実が図られている
教育施設の改善が進み、児童・生徒の安全性、快適性が保たれている
児童・生徒が健康で安全・安心な学校生活を送ることができる教育環境が整備されている
地産地消、食の安全、栄養バランスなど、食育に配慮された給食が提供され、児童・生徒
たちが健やかに育っている

政策目標における 3 年間の目指すべき方向性

児童・生徒数は、全国的には減少傾向にありますが、茅ヶ崎市ではしばらくの間増加するものと見込まれています。これを踏まえ、長期的視点に立ち、教育環境のハード・ソフト両面にわたる整備・充実を図ります。

大規模改修事業や環境改善事業により学校施設の格差を解消し、児童・生徒が快適で充実した教育環境の中で学べるよう学校施設の整備を進めます。また、学校施設の長寿命化、建て替えなど再整備等の基本的な計画について検討します。

健やかな体をはぐくむため、質の良い給食の提供、健康管理に関する指導と助言体制を整備します。また、確かな学力と豊かな人間性をはぐくむため、教職員の確保と適正な配置などにより、児童・生徒が安全・安心に学べる良好な教育環境と質の高い教育を受けられる体制を整えます。

一般会計	事業数	概算事業費
政策的事業	33	3,842 百万円
定例・定型的事業	87	3,184 百万円
職員給与費		3,555 百万円
一般会計概算事業費合計		10,581 百万円

施策目標：10

円滑に教育行政を進める（教育総務課）

施策のねらい

- 1 理解され、信頼される教育行政の推進
教育委員をはじめ教育行政に携わる人が教育委員会制度の趣旨をしっかりと認識し、市長との密接な連携を保ちながら、果たすべき責任を果たすことで、市民から理解され、信頼される教育行政を推進します。
- 2 教育行政の効率的・効果的な運営
教育行政を効率的・効果的に運営するため、継続性のある施策を充実したものとするとともに、組織、人事、事務管理の一層の適正化を図ります。
- 3 教育効果を発揮できる環境づくり
教育効果を発揮できる教育行政を円滑に推進するため、教育を取り巻く社会環境の変化などに对し、充実した審議で適切な意思決定とそれに伴う施策を実現できる環境づくりを進めます。
- 4 学校備品などの適正管理・整備
教育環境と授業の充実を図り、児童・生徒の学ぶ意欲をはぐくむため、多様化した教育ニーズに則して学校備品、学校遊具・体育器具の適正管理と整備を進めます。

施策目標における3年間の目指すべき方向性

積極的な情報発信を行うなど、市民から信頼される教育委員会を運営します。事務局や学校の運営では、市費正規職員退職時に再任用職員や臨時的任用職員を充て、人件費の縮減に努めつつ、円滑な業務を行います。児童・生徒のために、老朽化が進む学校備品を必要に応じて点検・修理・更新を進めることや学校図書館の蔵書整備に努め、より良い教育環境を整えます。

指標 施策目標の達成状況を把握する目安となる数値

指標名	現状値	平成30年度の目標値	指標の説明・意図
小学校の学校図書館の蔵書率100%の学校数	19校 (平成26年度)	19校	児童の読書環境充実のため、引き続き学校図書館の蔵書整備に努めます。国が定める小学校の学校図書館の蔵書率100%を達成した学校が、全19校のうち19校となることを目標としました。
中学校の学校図書館の蔵書率100%の学校数	5校 (平成26年度)	9校	生徒の読書環境充実のため、引き続き学校図書館の蔵書整備に努めます。国が定める中学校の学校図書館の蔵書率100%を達成した学校が、全13校のうち9校となることを目標としました。
教育施設業務員に占める正規職員(再任用・短時間勤務職員を除く)の割合	44/64 (平成26年度)	37/64	学校の市費正規職員退職時には、再任用職員を充て、再任用職員が不足するときは臨時的任用職員を充てることで、教育施設業務に従事する正規職員の削減を図ります。32校に2人ずつ配置した教育施設業務員のうち正規職員(再任用・短時間勤務職員を除く)を、44人から37人にすることを目標としました。

第3次実施計画事業一覧表

○ 一般会計

政策的事業	4 件	定例・定型的事業	26 件	事業費（職員給与費除く）	2,013 百万円
-------	-----	----------	------	--------------	-----------

No.	事業の性質	施策のねらい	事業名（★…主な第3次実施計画事業として掲載している事業）	平成28～30年度の事業費
1	政策	1	総合教育会議の運営業務	289 千円
2	政策	2	教育委員会及び小中学校に係る人事管理事務	104,895 千円
3	政策	4	小学校の大型備品等の整備	— 千円
4	政策	4	中学校の大型備品等の整備	— 千円
5	定例	1	危機管理体制の構築	— 千円
6	定例	1	★教育委員会の運営業務	17,482 千円
7	定例	1	教育委員会表彰の事務	1,328 千円
8	定例	2	学校備品等の廃棄	7,447 千円
9	定例	2	教育委員会及び小中学校に係る総務事務	5,968 千円
10	定例	2	教育委員会予算決算事務	— 千円
11	定例	2	★小学校の運営・維持のための事務	778,265 千円
12	定例	2	小学校臨時職員等の雇用に関する事務	316,266 千円
13	定例	2	★中学校の運営・維持のための事務	403,485 千円
14	定例	2	中学校臨時職員等の雇用に関する事務	46,644 千円
15	定例	2	労働安全衛生に係る事務	— 千円
16	定例	3	小学校の創意工夫教育支援事業	9,201 千円
17	定例	3	小学校の総合的な学習の時間に関する事業	14,248 千円
18	定例	3	小学校の特別支援学級の運営	16,913 千円
19	定例	3	中学校の創意工夫教育支援事業	6,309 千円
20	定例	3	中学校の総合的な学習の時間に関する事業	10,529 千円
21	定例	3	中学校の特別支援学級の運営	8,457 千円
22	定例	4	小学校の義務教育教材の整備	57,874 千円
23	定例	4	小学校の体育器具、遊具の点検、修理業務	24,239 千円
24	定例	4	小学校の備品等の整備	57,470 千円
25	定例	4	中学校の義務教育教材の整備	55,376 千円
26	定例	4	中学校の体育器具の点検、修理業務	20,971 千円
27	定例	4	中学校の備品等の整備	49,455 千円
28	定例	-	災害応急対策活動	— 千円
29	定例	-	庁内共通事務	— 千円
30	定例	-	部内調整事務	— 千円

※事業の性質：「政策」…政策的事業・「定例」…定例・定型的事業

主な第3次実施計画事業

事業名		事業概要				指標・目標
教育委員会の運営業務		- 教育委員活動の円滑な調整を行います。 - 教育委員会議の適切な運営を行い、教育行政を推進します。				指標 教育委員会の開催回数
一般会計		※教育委員会の開催回数（平成26年度）：18回				目標 平成28年度 12回
定例・定型的事業						平成29年度 12回
施策のねらい						平成30年度 12回
1 理解され、信頼される教育行政の推進		事業実施年度	28年度	29年度	30年度	
事業主体	市	平成28～30年度の事業費 17,482 千円				
政策共通認識		☒ 共生社会 ☐ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☐ 安全・安心				
地域	☒ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出					

事業名		事業概要				指標・目標
小学校の運営・維持のための事務		市立小学校の運営・維持に必要な事務を行います。				指標 運営・維持をする小学校の数
一般会計		※運営・維持をする小学校の数（平成26年度）：19校				目標 平成28年度 19校
定例・定型的事業						平成29年度 19校
施策のねらい						平成30年度 19校
2 教育行政の効率的・効果的な運営		事業実施年度	28年度	29年度	30年度	
事業主体	市	平成28～30年度の事業費 778,265 千円				
政策共通認識		☒ 共生社会 ☐ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☐ 安全・安心				
地域	☒ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出					

事業名		事業概要				指標・目標
中学校の運営・維持のための事務		市立中学校の運営・維持に必要な事務を行います。				指標 運営・維持をする中学校の数
一般会計		※運営・維持をする中学校の数（平成26年度）：13校				目標 平成28年度 13校
定例・定型的事業						平成29年度 13校
施策のねらい						平成30年度 13校
2 教育行政の効率的・効果的な運営		事業実施年度	28年度	29年度	30年度	
事業主体	市	平成28～30年度の事業費 403,485 千円				
政策共通認識		☒ 共生社会 ☐ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☐ 安全・安心				
地域	☒ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出					

施策目標：1 1

安全で快適な教育環境をつくる（教育施設課）

□ 施策のねらい

1 教育施設の整備

老朽化した教育施設の整備など日ごろの教育環境の向上に努めるとともに、児童・生徒をはじめ多くの人々が安全・安心で快適に学習と利用ができるように、大規模改修事業や環境改善事業などを行い、教育施設を整備します。

□ 施策目標における3年間の目指すべき方向性

新設校やこれまでに大規模改修を行った学校との学校間格差をなくすため、引き続き「公共施設整備・再編計画」に基づき、大規模改修事業を実施し、学校施設の老朽化の防止と長寿命化を図ります。また、衛生面における環境改善を図るため、保護者、地域住民及び学校から多くの要望があるトイレ改修を進めるとともに、電気設備、空調設備等の改修を計画的に進め、校内における児童・生徒等の安全をより確保し、安全で快適な教育環境の整備に取り組みます。

指標 施策目標の達成状況を把握する目安となる数値

指標名	現状値	平成 30 年度の目標値	指標の説明・意図
大規模改修事業の進捗	20% (平成 26 年度)	45.0%	学校教育施設が良好に整備されているかどうかを測ります。大規模改修整備事業計画校 20 校のうち、平成 26 年度までに改修が完了したのは 4 校ですが、平成 32 年度までに 20 校(小学校 14 校、中学校 6 校)の改修完了を目指し、平成 30 年度までに 9 校の改修を行うこととし、進捗率 45%を目標としました。
トイレ改修率	61.2% (平成 26 年度)	64.7%	学校施設の衛生面での教育環境の改善が進められているかどうかを測ります。大規模改修整備事業計画に合わせた改修計画 68 系統のうち、平成 26 年度までに改修が完了したのは 52 系統ですが、平成 32 年度までに 68 系統の改修完了を目指し、平成 30 年度までに 55 系統の改修を行うこととし、進捗率 64.7%を目標としました。

第3次実施計画事業一覧表

○ 一般会計

政策的事業	14 件	定例・定型的事業	20 件	事業費（職員給与費除く）	2,097 百万円
-------	------	----------	------	--------------	-----------

No.	事業の性質	施策のねらい	事業名（★…主な第3次実施計画事業として掲載している事業）	平成28～30年度の事業費
1	政策	1	★（仮称）教育施設等再整備基本計画の策定	— 千円
2	政策	1	★ 小学校教室不足解消事業	122,415 千円
3	政策	1	★ 小学校大規模改修整備事業	427,691 千円
4	政策	1	★ 中学校大規模改修整備事業	527,098 千円
5	政策	1	★ 小学校トイレ改修整備事業	23,257 千円
6	政策	1	★ 小学校施設の asbestos 対策事業	29,943 千円
7	政策	1	小学校施設整備事業	111,344 千円
8	政策	1	中学校施設整備事業	139,064 千円
9	政策	1	小学校電気設備等改修事業	25,210 千円
10	政策	1	中学校電気設備等改修事業	46,711 千円
11	政策	1	小学校敷地底地整理事業	8,130 千円
12	政策	1	中学校敷地底地整理事業	3,735 千円
13	政策	1	学校施設利活用検討事業	— 千円
14	政策	1	中学校グラウンド（一校）拡張事業	— 千円
15	定例	1	学校施設整備期成会参加	— 千円
16	定例	1	教育施設事務研究協議会参加	— 千円
17	定例	1	建築関係講習会参加	285 千円
18	定例	1	小学校施設の保守管理	41,895 千円
19	定例	1	小学校施設の維持管理	79,992 千円
20	定例	1	小学校施設建築基準法第12条の法定点検の実施	15,653 千円
21	定例	1	小学校施設の補修（小規模修繕）	133,329 千円
22	定例	1	小学校敷地の借り上げ	179,444 千円
23	定例	1	中学校施設の保守管理	22,884 千円
24	定例	1	中学校施設の維持管理	45,243 千円
25	定例	1	中学校施設建築基準法第12条の法定点検の実施	10,705 千円
26	定例	1	中学校施設の補修（小規模修繕）	85,502 千円
27	定例	1	中学校敷地の借り上げ	12,376 千円
28	定例	1	学校施設使用許可事務	— 千円
29	定例	1	学校施設整備補助金事務	— 千円
30	定例	1	省エネルギー法に基づくエネルギー管理	46 千円
31	定例	1	施設台帳管理事務	— 千円
32	定例	1	工事の設計及び監理事務	— 千円
33	定例	—	災害応急対策活動	— 千円
34	定例	—	庁内共通事務	5,223 千円

※事業の性質：「政策」…政策的事業・「定例」…定例・定型的事業

主な第3次実施計画事業

事 業 名		事 業 概 要				指標・目標			
(仮称)教育施設等再整備基本計画の策定		・平成28年度に策定する「(仮称)教育施設等再整備基本方針」と連携し、学区ごとの中・長期の児童・生徒数推計をもとに、小中学校の耐用年数の見直し、長寿命化、建替え、統廃合の計画を策定します。 ・将来における財政負担の検討を行い、教育施設等の地域社会における役割を整理します。				指標 基本計画策定に向けた作業			
						目標			
						平成28年度			
						施設整備における総合的な調査検討			
一般会計						平成29年度			
政策的事業		新規						適正な教育施設の再配置等の検討	
施策のねらい						平成30年度			
1 教育施設の整備		事業実施年度		28年度	29年度	30年度	基本計画の策定		
事業主体		市		平成28～30年度の事業費		一 千円			
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心							
地域	■ 全市		□ 茅ヶ崎	□ 南湖	□ 海岸	□ 鶴嶺東	□ 鶴嶺西	□ 湘南	
			□ 松林	□ 湘北	□ 小和田	□ 松浪	□ 浜須賀	□ 小出	

事業名			事業概要				指標・目標
小学校教室不足解消事業			・鶴嶺小学校の大規模化に伴い、仮設校舎を設置し、教室不足の解消を図ります。 ・仮設校舎設置前に埋蔵文化財発掘調査を実施します。				指標 仮設校舎の設置校数
一般会計							目標 平成28年度 1校 平成29年度 1校 平成30年度 1校
政策的事業		新規					
施策のねらい							
1 教育施設の整備							
			事業実施年度	28年度	29年度	30年度	
事業主体		市	平成28～30年度の事業費		122,415 千円		
政策共通認識			■ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心				
地域	□ 全市	□ 茅ヶ崎 □ 松林	□ 南湖 □ 湘北	□ 海岸 □ 小和田	■ 鶴嶺東 □ 松浪	□ 鶴嶺西 □ 浜須賀	□ 湘南 □ 小出

事業名		事業概要				指標・目標					
小学校大規模改修整備事業		・築年30年を超えた西浜小学校、松浪小学校、小和田小学校、梅田小学校を対象として、校舎の外壁、屋上防水、内装及びトイレ等の改修工事を行います。 ・次期改修の茅ヶ崎小学校の設計を行います。 ※改修工事実施校数（平成26年度）：3校(設計3校) <table><tr><td>事業実施年度</td><td>28年度</td><td>29年度</td><td>30年度</td></tr></table>				事業実施年度	28年度	29年度	30年度	指標 改修工事実施校数	
事業実施年度	28年度					29年度	30年度				
一般会計						目標 平成28年度 工事2校					
政策的事業	継続					平成29年度 工事1校 設計1校					
施策のねらい		平成30年度 工事1校									
1 教育施設の整備											
事業主体	市	平成28～30年度の事業費		427,691 千円							
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心									
地域	□ 全市	■ 茅ヶ崎	■ 南湖	□ 海岸	■ 鶴嶺東	■ 鶴嶺西	□ 湘南				
		□ 松林	□ 湘北	■ 小和田	■ 松浪	□ 浜須賀	□ 小出				

事業名		事業概要				指標・目標	
中学校大規模改修整備事業		・ 築年30年を超えた浜須賀中学校、第一中学校を対象として、校舎の外壁、屋上防水、内装及びトイレ等の改修工事を行います。 ・ 次期改修校の設計業務を行います。				指標 改修工事実施校数	
一般会計						目標 平成28年度	
政策的事業	継続					—	
施策のねらい						平成29年度 設計2校	
1 教育施設の整備							
		事業実施年度		29年度	30年度		
事業主体	市	平成28～30年度の事業費		527,098 千円		平成30年度 工事2校 設計2校	
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	□ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 ■ 海岸 ■ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 ■ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 ■ 浜須賀 □ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
小学校トイレ改修整備事業		・築年数が20年以上経過した学校トイレの3K(暗い、臭い、汚い)の解消に向けて、明るく、快適なトイレ空間を作り、衛生面における環境の改善を図ります。 ※トイレ改修の校数（平成26年度）：3校				指標 トイレ改修の校数	
一般会計						目標 平成28年度 —	
政策的事業	継続					—	
施策のねらい						平成29年度 工事1校 (屋外トイレ)	
1 教育施設の整備						平成30年度 —	
		事業実施年度		29年度			
事業主体	市	平成28～30年度の事業費		23,257 千円		平成30年度 —	
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	□ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 ■ 浜須賀 □ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
小学校施設のアスベスト対策事業		・現在もアスベストが存在している小学校の除去工事を実施します。 ※完全除去の校数（平成26年度）：1校				指標 完全除去の校数	
						目標	
						平成28年度 1校	
						平成29年度 1校	
一般会計						平成30年度 —	
政策的事業		継続拡充					
施策のねらい							
1 教育施設の整備							
		事業実施年度	28年度	29年度			
事業主体	市	平成28～30年度の事業費	29,943 千円				
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☒ 安全・安心					
地域	☐ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☒ 湘南 ☐ 松林 ☒ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出						

施策目標：1 2

健やかで安心できる学校生活を支援する（学務課）

施策のねらい

- 1 就学が困難な児童・生徒への支援
経済的な理由で就学が困難な児童・生徒の保護者に対して学用品費、学校給食費などを支援します。
- 2 学校給食の充実
健やかな心身の育成のため、食の安全確保をし、献立の充実により質の良い給食を提供し、食の大切さを伝えます。また、老朽化し更新時期を迎えた給食調理場の適切な管理を行うなど、衛生管理を徹底します。
- 3 学校保健の充実
健康診断を実施し、児童・生徒の健康状況を把握するとともに、健康管理に関する指導・助言体制を整備し、児童・生徒の健康保持増進を図ります。
- 4 教職員の適正配置
教職員の確保と適切な配置により、児童・生徒が効果的に教育を受けられる体制を整えます。
- 5 登下校時の児童の安全確保
警察など関係機関や家庭・学校・地域と連携し、登下校時の児童の安全を図ります。
- 6 適正な就学事務の実施
児童・生徒が義務教育を受けるための就学事務を適正に行います。

施策目標における3年間の目指すべき方向性

就学が困難な児童・生徒の保護者に対して、学用品費、学校給食費などを支援します。

学校保健について、児童・生徒の健康保持促進を図るため、就学時健診や心臓・腎臓等の健診を行い、健康管理に関する指導及び助言を行います。

学校給食調理場の施設・設備の老朽化に対応するため各調理場の整備を行うとともに給食共同調理場から給食を提供している学校に給食調理場を順次整備し、安全・安心な学校給食の運営を推進します。

適材適所の観点から、適正な教職員の配置を行うとともに市費教員任用事業を推進するとともに、教職員の健康管理の充実を図ります。

指標 施策目標の達成状況を把握する目安となる数値

指標名	現状値	平成 30 年度の目標値	指標の説明・意図
給食におけるアレルギー対策施設の割合	4 校 (平成 26 年度)	7 校	食物アレルギー対策として、給食施設の改修等に合わせ、平成 30 年度までに、7 校へアレルギー対応食調理コーナーを設置し、安全安心な給食を提供します。

第3次実施計画事業一覧表

○ 一般会計

政策的事業	15 件	定例・定型的事業	41 件	事業費（職員給与費除く）	2,916 百万円
No.	事業の性質	施策のねらい	事業名（★…主な第3次実施計画事業として掲載している事業）	平成28～30年度の事業費	
1	政策	1	特別支援教育就学奨励費に係る事務（小学校）	8,818 千円	
2	政策	1	特別支援教育就学奨励費に係る事務（中学校）	5,708 千円	
3	政策	1	★要保護及び準要保護児童就学援助（小学校）	544,906 千円	
4	政策	1	★要保護及び準要保護生徒就学援助（中学校）	236,071 千円	
5	政策	2	学校給食の栄養管理に係る事務	6,130 千円	
6	政策	2	学校給食調理場工レバーター改修に係る事業	34,073 千円	
7	政策	2	学校給食調理場の整備に係る事業	168,904 千円	
8	政策	2	★学校施設（調理場）新設事業	1,012,658 千円	
9	政策	2	学校施設新設（調理場）に伴う施設整備事業	3,220 千円	
10	政策	2	給食調理場の備品購入に係る事務	22,717 千円	
11	政策	2	★鶴嶺小学校大規模化対応のための調理場改修等に係る事業	33,899 千円	
12	政策	3	保健室の備品購入に係る事務（小学校）	1,703 千円	
13	政策	3	保健室の備品購入に係る事務（中学校）	3,092 千円	
14	政策	4	★市費教員任用事業	81,640 千円	
15	政策	6	教育事務委託に係る事務	108,879 千円	
16	定例	2	学校給食の管理及び運営に係る事務	65,434 千円	
17	定例	2	学校給食施設の管理に係る事務	177,620 千円	
18	定例	2	学校給食設備の修繕に係る事務	35,926 千円	
19	定例	2	共同調理場の運営に係る事務	17,685 千円	
20	定例	2	共同調理場の受配校との調整	2,803 千円	
21	定例	3	学校医等の公務災害補償の支給に係る事務	77 千円	
22	定例	3	学校環境衛生管理に係る事務（小学校）	9,970 千円	
23	定例	3	学校環境衛生管理に係る事務（中学校）	5,932 千円	
24	定例	3	学校保健の管理に係る事務（小学校）	76,354 千円	
25	定例	3	学校保健の管理に係る事務（中学校）	41,012 千円	
26	定例	3	学校保健の推進に係る事務	2,182 千円	
27	定例	3	災害共済及び損害補填に係る事務（小学校）	36,361 千円	
28	定例	3	災害共済及び損害補填に係る事務（中学校）	17,298 千円	
29	定例	3	児童の健康管理に係る事務	43,441 千円	
30	定例	3	小学校修学旅行への医療従事者の派遣	1,463 千円	
31	定例	3	生徒の健康管理に係る事務	24,157 千円	
32	定例	3	中学校修学旅行への医療従事者の派遣	3,356 千円	
33	定例	3	保健室・給食調理場の維持管理に係る事務（小学校）	2,558 千円	
34	定例	3	保健室の維持管理に係る事務（中学校）	129 千円	
35	定例	3	学校職員の定期健康診断及び産業医の面接指導に係る事務（小学校）	25,945 千円	
36	定例	3	学校職員の定期健康診断及び産業医の面接指導に係る事務（中学校）	15,363 千円	
37	定例	4	学級編制事務	— 千円	
38	定例	4	教職員の休業・休職に係る事務	— 千円	
39	定例	4	教職員の研修・派遣に係る事務	— 千円	
40	定例	4	教職員の公務・通勤災害に係る事務	— 千円	
41	定例	4	教職員の採用・辞職・配置換えに係る事務	— 千円	
42	定例	4	教職員の昇給・昇格に係る事務	— 千円	
43	定例	4	教職員の表彰に係る事務	— 千円	
44	定例	4	教職員の服務に関する事務	— 千円	
45	定例	4	教職員の福利厚生に関する事務	18,809 千円	
46	定例	4	教職員の免許資格に係る事務	— 千円	
47	定例	4	教職員団体との交渉に係る事務	— 千円	
48	定例	5	★児童生徒の事故報告及び通学の安全確保に係る事務	— 千円	
49	定例	6	学校旅行総合保険に係る事務	791 千円	
50	定例	6	学齢児童生徒の就学及び転入学に係る事務	— 千円	
51	定例	6	学齢児童生徒の就学及び転入学に係る事務（小学校出席簿）	183 千円	
52	定例	6	学齢児童生徒の就学及び転入学に係る事務（中学校出席簿）	82 千円	
53	定例	6	学齢簿の編成及び加除訂正に係る事務	13,425 千円	
54	定例	6	校長会交付金に係る事務	5,578 千円	

第3次実施計画事業一覧表

55	定例	-	災害応急対策活動	一 千円
56	定例	-	庁内共通事務	一 千円

※事業の性質：「政策」…政策的事業・「定例」…定例・定型的事業

主な第3次実施計画事業

事業名		事業概要				指標・目標	
要保護及び準要保護児童就学援助（小学校）		・経済的理由により就学困難な児童の保護者に就学援助費を支給します。 ・就学援助制度の周知を行います。 ※支給回数（平成26年度）：年3回（小学6年生のみ年4回）				指標	
						支給回数	
						目標	
						平成28年度	
						年3回（小学6年生のみ年4回）	
一般会計						平成29年度	
政策的事業		継続				年3回（小学6年生のみ年4回）	
施策のねらい						平成30年度	
1 就学が困難な児童・生徒への支援						年3回（小学6年生のみ年4回）	
						平成30年度	
						年3回（小学6年生のみ年4回）	
事業実施年度		28年度		29年度		30年度	
事業主体		市・国		平成28～30年度の事業費		544,906 千円	
政策共通認識		■ 共生社会 □ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域		■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出					

事業名		事業概要				指標・目標	
要保護及び準要保護生徒就学援助（中学校）		・経済的理由により就学困難な生徒の保護者に就学援助費を支給します。 ・就学援助制度の周知を行います。 ※支給回数（平成26年度）：年3回				指標 支給回数	
						目標	
						平成28年度 年3回	
						平成29年度 年3回	
						平成30年度 年3回	
一般会計							
政策的事業		継続					
施策のねらい							
1 就学が困難な児童・生徒への支援		事業実施年度		28年度	29年度	30年度	
事業主体		市・国		平成28～30年度の事業費		236,071 千円	
政策共通認識		■ 共生社会 □ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域		■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出					

事業名		事業概要				指標・目標	
学校施設（調理場）新設事業		・小和田小学校及び今宿小学校に自校式給食調理場を建設します。 ※自校式調理場設置校数（平成26年度）：16校				指標 自校式調理場設置校数	
一般会計						目標	
政策的事業	継続					平成28年度 17校	
施策のねらい						平成29年度 18校	
2 学校給食の充実						平成30年度 18校	
		事業実施年度	28年度	29年度	30年度		
事業主体	市	平成28～30年度の事業費		1,012,658 千円			
政策共通認識		□ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 ■ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 ■ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事 業 名		事 業 概 要				指標・目標													
鶴嶺小学校大規模化対応のための調理場改修等に係る事業		・鶴嶺小学校大規模化に伴い、クラス数に対応した給食提供を行うため、施設の改修など必要な整備を行います。 ※鶴嶺小学校の給食提供可能食数（平成26年度）：1,000食 <table><tr><th>事業実施年度</th><th>28年度</th><th>29年度</th><th>30年度</th></tr><tr><td colspan="4">平成28～30年度の事業費</td></tr><tr><td colspan="4">33,899 千円</td></tr></table>				事業実施年度	28年度	29年度	30年度	平成28～30年度の事業費				33,899 千円				指標 鶴嶺小学校の給食提供可能食数	
事業実施年度	28年度					29年度	30年度												
平成28～30年度の事業費																			
33,899 千円																			
一般会計						目標 平成28年度 1,150食													
政策的事業	新規	平成29年度 1,400食																	
施策のねらい						平成30年度 1,400食													
2 学校給食の充実																			
事業主体	市	平成28～30年度の事業費				33,899 千円													
政策共通認識		□ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 □ 安全・安心																	
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 ■ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出																		

事業名		事業概要				指標・目標													
市費教員任用事業		・さまざまな教育課題に臨機応変に対応し、学校教育の質を高めるため、市費による教員を任用します。 ※市費教員（非常勤嘱託職員）の任用（平成26年度）：14人(1,314日) <table><tr><th>事業実施年度</th><th>28年度</th><th>29年度</th><th>30年度</th></tr><tr><td colspan="4">平成28～30年度の事業費</td></tr><tr><td colspan="4">81,640 千円</td></tr></table>				事業実施年度	28年度	29年度	30年度	平成28～30年度の事業費				81,640 千円				指標 市費教員（非常勤嘱託職員）の任用	
事業実施年度	28年度					29年度	30年度												
平成28～30年度の事業費																			
81,640 千円																			
一般会計						目標													
政策的事業		平成28年度 12人(2,340日)																	
継続		平成29年度 12人(2,340日)																	
施策のねらい		平成30年度 12人(2,340日)																	
4 教職員の適正配置																			
事業主体		市		平成28～30年度の事業費		81,640 千円													
政策共通認識		■ 共生社会		■ 環境		□ 協働 □ 生涯学習 □ 安全・安心													
地域		■ 全市		□ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南															
		□ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出																	

事 業 名		事 業 概 要				指標・目標	
児童生徒の事故報告及び通学の安全確保に係る事務		・登下校の事故をなくし、安全で安心して学校に通えるよう、通学路の改善について学校・関係部署との調整を図ります。 ※学校・関係部署との調整時期（平成26年度）：9月				指標	
						学校・関係部署との調整時期	
						目標	
						平成28年度 9月	
						平成29年度 9月	
一般会計						平成30年度 9月	
定例・定型的事業		継続					
施策のねらい							
5 登下校時の児童の安全確保							
		事業実施年度	28年度	29年度	30年度		
事業主体	市	平成28～30年度の事業費	一 千円			平成30年度 9月	
政策共通認識		□ 共生社会 □ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	■ 全市	□ 茅ヶ崎	□ 南湖	□ 海岸	□ 鶴嶺東	□ 鶴嶺西	□ 湘南
		□ 松林	□ 湘北	□ 小和田	□ 松浪	□ 浜須賀	□ 小出

政策目標
4

多様な機会に学び、活動し、交流する、豊かな感性をはぐくむまち
(文化生涯学習部)

目指すべき将来像

市民の学習意欲に応じて、学習拠点とともに、市民、大学、事業者などとの協働によって新しい学習の場や機会が充実している
地域文化への愛着と未来への創造力があふれ、だれもが自然に文化・芸術に親しんでいる
世代を超えてスポーツに親しみ、健康に暮らしている人が増えている
互いを尊重しながら、自らの意思で積極的に等しく社会に参画できる環境が整っている

政策目標における 3 年間の目指すべき方向性

文化生涯学習部の政策目標である「多様な機会に学び、活動し、交流する、豊かな感性をはぐくむまち」の実現に向けて、関係部局との組織横断的な調整を行い、関係機関や関係団体などとの連携・協力を図りつつ、各重点事業・施策を着実に推進します。

「みんながまなび未来を創造する文化生涯学習のまち ちがさき」を基本理念とする文化生涯学習プランに位置付けられた 5 つの行動目標と 3 つの重点戦略に基づき、文化生涯学習の振興を図る各種施策をより効果的に推進します。

市民の誰もが、スポーツ・レクリエーション活動や健康づくりに取り組める環境を整備するため、(仮称)柳島スポーツ公園の整備を進めるとともに、スポーツを通して、健康なまちの実現に向けた生涯スポーツを推進します。

市民の生涯にわたる健康の維持増進に向けた取り組みを着実に進めるため、「健康増進計画(後期)・歯及び口腔の健康づくり推進計画」を策定し、一次予防に重点を置いた健康づくりを推進します。

国籍、年齢、障害などに関わらず、あらゆる人が心豊かに生活することができる、多様性が保障された男女共同参画社会の形成を目指し、関係課かいと連携しながら総合的かつ計画的に施策を推進します。

一般会計	事業数	概算事業費
政策的事業	22	9,974 百万円
定例・定型的事業	45	314 百万円
職員給与費		827 百万円
一般会計概算事業費合計		11,115 百万円

施策目標：1 3

まなびを通して、自らが住むまちについて知り、愛着を持ち、未来を創造する力をはぐくむ (文化生涯学習課)



施策のねらい

- 1 市民の自主的な文化生涯学習活動の促進
だれもが自由に参加し、互いに学び、学んだことを生かせる学習環境や文化芸術活動に参加しやすい環境を整えることにより、市民の自主的な文化生涯学習活動を促します。
- 2 生涯学習を担う人材の活用
生涯学習を担う人材を活用して、時代の変化に対応し、自立した個人の成長を支援します。
- 3 生涯学習拠点の整備とネットワークの構築
生涯学習の拠点を整備し、生涯学習を総合的に展開していきます。また、企業・NPO・学校・市民のネットワークを構築します。
- 4 芸術・文化に触れ合う機会の増加
芸術・文化を通して、だれもが日々の暮らしを豊かにし、心の充足感、生きる力、他人に対する優しさなどをはぐくむことができるよう努めます。また、市民文化会館のリニューアルによりバリアフリー化を推進し利用者の利便性や安全性の向上を図るとともに、芸術・文化に触れあう機会を増やします。
- 5 身近なところで触れる芸術活動の展開
地域住民のもとへ出向いて芸術活動を行うアウトリーチ活動など、芸術・文化への最初の接点の垣根を低くする取り組みや、芸術・文化鑑賞事業や創造育成事業、次世代育成事業で「気づき」の仕掛けを行うことにより、これまで芸術・文化になじみが薄かった層の芸術・文化への新たな参画を促します。
- 6 市史の編さん、情報発信
郷土の発展、変遷を理解してもらうため、茅ヶ崎市に関する歴史資料を調査・収集・保存し、歴史講座の開催や「ヒストリアちがさき」の刊行などによって、その成果を広く発信することにより、わがまち、わが地域への愛着心をはぐくみます。



施策目標における3年間の目指すべき方向性

「多様な機会に学び、活動し、交流する、豊かな感性をはぐくむまち」の実現に向けて、関係部局との組織横断的な調整を行いながら、関係機関や関係団体などとの連携・協力を図りつつ、各重点事業・施策を着実に推進します。

平成24年度から平成32年度までを計画期間とする文化生涯学習プランでは、「みんながまなび未来を創造する文化生涯学習のまち ちがさき」を基本理念とし、このプランに位置付けられた5つの行動目標と3つの重点戦略に基づき、文化生涯学習の振興を図る各種施策をより効果的に推進します。

茅ヶ崎市民文化会館の耐震改修及び大規模リニューアルを実施し、施設の安全性を確保するとともに、快適性の向上を目指します。

指標 施策目標の達成状況を把握する目安となる数値

指標名	現状値	平成 30 年度の目標値	指標の説明・意図
市民講師登録人数	61 人 (平成 26 年度)	90 人	まなび人材事業と位置付けて、生涯学習を担う人材の活用事業を展開します。また、講師が互いに教え合い、学び合う学習機会を設けます。 ハマミナまなびプラザに「市民大楽(しみんだいがく)」が平成 27 年度からスタートし、まなび人材事業と連動による登録数の増加を見込み、目標値を設定しました。
文化芸術事業参加者数	417,927 人 (平成 26 年度)	36,000 人	市民の文化芸術への関心を高めることができているかを測ります。 文化会館、美術館を市の文化芸術の拠点と考え、同施設を訪れ文化芸術に触れた人たちの数が増加することにより、誰もが自然に文化芸術に親しんでいる社会になることを目指します。平成 27 年 2 月に開館した茅ヶ崎ゆかりの人物館等の文化施設と連携し文化の振興を図ります。 なお、文化会館と美術館の来館者数を指標としておりますが、平成 29 年度、30 年度に文化会館の大規模改修を予定していることから、平成 30 年の目標値は美術館の来館者数から試算した 35,000 人と文化会館閉館中に他の施設等で実施する代替事業における参加者 1,000 人を加えた 36,000 人を目標としました。

第3次実施計画事業一覧表

○ 一般会計

政策的事業	9 件	定例・定型的事業	18 件	事業費（職員給与費除く）	5,408 百万円
-------	-----	----------	------	--------------	-----------

No.	事業の性質	施策のねらい	事業名（★…主な第3次実施計画事業として掲載している事業）	平成28～30年度の事業費
1	政策	1	★ 市民大楽まなびーな運営事業	473 千円
2	政策	3	ハマミーナまなびプラザの管理運営事業	194,484 千円
3	政策	4	★ 茅ヶ崎ゆかりの人物館管理運営事業	21,304 千円
4	政策	4	市民文化会館の指定管理に関する事業	493,979 千円
5	政策	4	★ 市民文化会館再整備事業	4,332,007 千円
6	政策	4	茶室・書院管理運営事業	17,734 千円
7	政策	4	美術館の指定管理に関する事業	217,158 千円
8	政策	4	旧南湖院第一病舎の活用に関する事業	— 千円
9	政策	6	歴史的公文書等の整理、保存	2,640 千円
10	定例	1	レインボーフェスティバル事業	4,528 千円
11	定例	1	文化生涯学習プランの推進事業	3,789 千円
12	定例	2	★ 生涯学習機会の提供	20,239 千円
13	定例	3	市民ギャラリー管理運営事業	11,673 千円
14	定例	4	開高健記念館事業	14,753 千円
15	定例	4	茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団との連絡・調整事務	— 千円
16	定例	4	市民文化会館維持管理事業	1,988 千円
17	定例	4	市民文化祭事業	8,021 千円
18	定例	4	★ 次世代を対象としたアウトリーチ事業	2,682 千円
19	定例	4	湘南広域都市行政協議会広域文化活動部会事務	1,303 千円
20	定例	4	美術館管理運営事業	32,308 千円
21	定例	4	美術品収集事業	5,001 千円
22	定例	4	文化活動推進及び支援事業	1,191 千円
23	定例	4	文化振興基金事業	527 千円
24	定例	6	★ 市史編さん事業	19,950 千円
25	定例	—	災害応急対策活動	— 千円
26	定例	—	庁内共通事務	— 千円
27	定例	—	部内調整事務	— 千円

※事業の性質：「政策」…政策的事業・「定例」…定例・定型的事業

主な第3次実施計画事業

事業名		事業概要				指標・目標									
市民大楽まなびーな運営事業		・ハマミーナまなびプラザを各諸室の特性を生かし、各種講座を開催します。 ・各種講座を市民大楽楽部として体系化するとともに、交流・情報交換のためのサロンを実施します。 ・生涯学習事業における地域・民間との連携を推進します。 ※まなびの市民講師の登録者数（平成26年度）：67人 <table><tr><th>事業実施年度</th><th>28年度</th><th>29年度</th><th>30年度</th></tr><tr><td colspan="4">平成28～30年度の事業費</td></tr></table>				事業実施年度	28年度	29年度	30年度	平成28～30年度の事業費				指標 まなびの市民講師の登録者数	
事業実施年度	28年度					29年度	30年度								
平成28～30年度の事業費															
一般会計						目標 平成28年度 75人									
政策的事業	継続拡充					平成29年度 80人									
施策のねらい		平成30年度 85人													
1 市民の自主的な文化生涯学習活動の促進															
事業主体		市・民間		平成28～30年度の事業費		473 千円									
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 ■ 協働 ■ 生涯学習 □ 安全・安心													
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 ■ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 ■ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出														

事業名		事業概要				指標・目標	
茅ヶ崎ゆかりの人物館管理運営事業		・茅ヶ崎ゆかりの人物館の管理、運営を行い、ゆかりの人物が愛用していた品々や関連資料などの展示を行います。 ・市のホームページやSNSなどを活用した積極的な広報活動及び情報発信・提供を行います。 ・中長期的な展示計画を策定します。 ※来館者数（平成26年度）：2,207人				指標 来館者数	
一般会計						目標 平成28年度 3,500人	
政策的事業	継続拡充					平成29年度 3,600人	
施策のねらい						平成30年度 3,700人	
4 芸術・文化に触れ合う機会の増加							
		事業実施年度	28年度	29年度	30年度		
事業主体	市	平成28～30年度の事業費		21,304 千円			
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 ■ 協働 ■ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 ■ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
市民文化会館再整備事業		・市民文化会館再整備に向けた変更設計を実施します。 ・施設の耐震性の確保、設備等の老朽化対策、バリアフリー化等施設の快適性を向上させるための改修工事を実施します。				指標 耐震補強及び改修工事の進捗	
						目標	
						平成28年度 変更設計完了	
						平成29年度 工事着手	
						平成30年度 工事完了	
一般会計							
政策的事業		継続					
施策のねらい							
4 芸術・文化に触れ合う機会の増加		事業実施年度		28年度	29年度	30年度	
事業主体		市		平成28～30年度の事業費		4,332,007 千円	
政策共通認識		■ 共生社会		■ 環境	□ 協働	■ 生涯学習 ■ 安全・安心	
地域	■ 全市		■ 茅ヶ崎	□ 南湖	□ 海岸	□ 鶴嶺東	□ 鶴嶺西
			□ 松林	□ 湘北	□ 小和田	□ 松浪	□ 浜須賀
							□ 小出

事 業 名		事 業 概 要				指標・目標	
生涯学習機会の提供		・豊かな長寿社会の実現に向け、企業や学校等の協力のもと、多様化する市民の学習ニーズに応えた学習機会の充実を図り、自主的・自発的な学習の支援を行います。 ・生涯学習に関わる市民講師や委員・ボランティアの増加を図り、事業の拡大を進めます。 ※まなびの市民講師による自主企画講座の開催数（平成26年度）：80講座				指標 まなびの市民講師による自主企画講座の開催数	
一般会計						目標	
定例・定型の事業	継続拡充					平成28年度 115講座	
施策のねらい						平成29年度 115講座	
2 生涯学習を担う人材の活用		事業実施年度				平成30年度 115講座	
		28年度		29年度		30年度	
事業主体	市	平成28～30年度の事業費		20,239 千円			
政策共通認識		■ 共生社会 □ 環境 ■ 協働 ■ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
次世代を対象としたアウトリーチ事業		・学校との連携を図り、より文化芸術に親しめる機会を提供します。 ・継続的に文化芸術の提供を行うことが可能となるよう、文化施設が主体となり事業を検討、実施します。 ※事業の実施回数（平成26年度）：4回				指標 事業の実施回数	
一般会計						目標	
定例・定型的事業	継続					平成28年度 5回	
施策のねらい						平成29年度 5回	
4 芸術・文化に触れ合う機会の増加		事業実施年度	28年度	29年度	30年度	平成30年度 5回	
事業主体	市	平成28～30年度の事業費	2,682 千円				
政策共通認識		□ 共生社会 □ 環境 ■ 協働 ■ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
市史編さん事業		・資料の調査・収集・研究を実施し、「市史ブックレット」「市史史料集」「ヒストリアちがさき」等を刊行するとともに、刊行物をもとにした市史講座を開催します。 ・平成29年度には市制施行70周年に合わせ「市制施行70周年記念誌」を、30年度には幅広い年代に市史を周知するため「（仮称）ジュニア版市史」を刊行します。 ※「市史ブックレット」等の刊行及び刊行物を基に市史講座の開催：刊行物2,300冊・市史講座17回				指標 「市史ブックレット」等の刊行及び刊行物を基に市史講座の開催	
一般会計						目標	
定例・定型的事業	継続					平成28年度 刊行物2,800冊 市史講座25回	
施策のねらい						平成29年度 刊行物2,800冊 市史講座25回	
6 市史の編さん、情報発信		事業実施年度				平成30年度 刊行物4,300冊 市史講座25回	
		28年度	29年度	30年度			
事業主体	市	平成28～30年度の事業費		19,950 千円			
政策共通認識		■ 共生社会 □ 環境 ■ 協働 ■ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

施策目標：1 4

いつでも気軽にスポーツができ、心とからだを健康にできる環境をつくる

(スポーツ健康課)



施策のねらい

1 生涯スポーツ・健康づくりの推進

市民のだれもが、それぞれの体力や年齢、技術、目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しみ健康づくりができる、生涯スポーツと健康づくりの推進を図ります。

2 さまざまなスポーツに取り組める環境づくり

スポーツ人口を増やし、指導者を育成し、さまざまな種類のスポーツに多くの人が気軽に参加する環境づくりを進めます。

3 スポーツ施設整備の推進

市民のだれもが、気軽にスポーツに親しめるよう、既存スポーツ施設のバリアフリー化を含めた機能充実と新たなスポーツ施設整備の推進を図ります。また、利用者の安全を確保するため、施設の適切な維持管理を進めます。

4 健康意識の向上

市民一人一人が健康づくりに主体的に取り組めるよう、健康に関する適切な情報と場を提供し、健康意識の向上を図ります。

5 食育についての正しい知識の普及

市民一人一人が、主体的自発的に健全な食生活を送ることができるよう、食育についての正しい知識を普及します。

6 一次予防に重点を置いた健康づくりの推進

がん・脳卒中・心臓病・糖尿病などを予防するために、一次予防（生活習慣を改善して健康を増進し、生活習慣病などを予防する）に重点を置き、健康教室や保健指導などを実施し、市民全体の健康づくりを推進します。



施策目標における3年間の目指すべき方向性

(仮称)柳島スポーツ公園整備及び維持管理・運営事業では、平成 28 年春より建設工事に着手し、30 年 3 月の開園を目指します。

体育施設の管理・運営では、28 年 4 月より県からの移管施設である柳島しおさい広場(公園)を新たに指定管理者施設とします。(仮称)茅ヶ崎公園体験学習施設整備に伴い、28 年度に茅ヶ崎公園庭球場の移転工事を行い、29 年度より新施設の供用を開始します。

健康増進事業では、28 年度に「健康増進計画(後期)・歯及び口腔の健康づくり推進計画」を策定し、事業を継続拡充します。29 年度の保健所政令市への移行の際には、事業を保健所に移管し、これまで県が担ってきた保健所業務と一体化した取り組みを行います。食育推進事業では、地域の関係機関及び関係団体等と連携した事業を展開します。

指標 施策目標の達成状況を把握する目安となる数値

指標名	現状値	平成 30 年度の目標値	指標の説明・意図
市営体育施設の利用者数	541,602 人 (平成 26 年度)	606,000 人	施設の予約方法の改善、指定管理者との運営状況についての協議などにより、利便性の向上を図りながら、スポーツ実施率の上昇と合わせ、市営体育施設の利用者を増やします。既存施設の稼働率の向上を見込み、利用者 606,000 人を目標としました。
健康事業への参加者数	1,580 人 (平成 26 年度)	1,700 人	健康づくりへの関心を高め、また、日常生活の実践につながるように支援する健康教室や普及啓発イベント等への参加状況により、健康に対する意識を測ります。 健康に対する意識を向上させるため、健康教室の開催数を増やし、知識の普及を図ります。健康教室開催数の増による 120 人程度の増加を目標としました。

第3次実施計画事業一覧表

○ 一般会計

政策的事業	9 件	定例・定型的事業	12 件	事業費（職員給与費除く）	4,815 百万円
-------	-----	----------	------	--------------	-----------

No.	事業の性質	施策のねらい	事業名（★…主な第3次実施計画事業として掲載している事業）	平成28～30年度の事業費
1	政策	1	★（仮称）柳島スポーツ公園整備及び維持管理・運営事業	3,631,639 千円
2	政策	3	屋内温水プールの管理・運営	190,183 千円
3	政策	3	体育館の管理・運営	351,153 千円
4	政策	3	体育施設の管理・運営	503,877 千円
5	政策	4	歯科保健事業 ◆保健所政令市関連事業	1,062 千円
6	政策	5	★食育推進計画の推進 ◆保健所政令市関連事業	565 千円
7	政策	5	★食育推進事業 ◆保健所政令市関連事業	884 千円
8	政策	6	★健康増進計画の推進 ◆保健所政令市関連事業	5,089 千円
9	政策	6	★健康教育事業 ◆保健所政令市関連事業	4,414 千円
10	定例	1	ジュニアスポーツ事業への負担	590 千円
11	定例	1	★スポーツ振興基本計画の推進	412 千円
12	定例	1	各種体育大会等の開催	15,281 千円
13	定例	1	各種大会等選手役員派遣事業	2,827 千円
14	定例	1	学校体育施設開放事業	85,963 千円
15	定例	1	関係団体への助成	5,767 千円
16	定例	1	神奈川県体育施設協会に係る事務	15 千円
17	定例	1	総合型地域スポーツクラブの育成	287 千円
18	定例	2	スポーツ推進委員に係る事務	13,081 千円
19	定例	6	栄養改善事業 ◆保健所政令市関連事業	1,448 千円
20	定例	-	災害応急対策活動	— 千円
21	定例	-	庁内共通事務	25 千円

※事業の性質：「政策」…政策的事業・「定例」…定例・定型的事業

◆保健所政令市関連事業：保健所政令市移行に向けた準備又は移行後に保健所で実施する事業

主な第3次実施計画事業

事業名		事業概要	指標・目標
(仮称)柳島スポーツ公園整備及び維持管理・運営事業		- 総合競技場、多目的広場、テニスコート等の広域的なスポーツ・レクリエーション拠点としての整備を行います。 - 周辺の自然環境と調和した緑地整備や雨水整備、災害時の広域避難場所としての機能を有する施設整備を行います。 - P F I 事業により民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用します。	指標 事業の進捗状況
一般会計			目標 平成28年度 建設工事の実施
政策的事業	継続拡充		
施策のねらい		※事業の進捗状況（平成26年度）：P F I 事業契約の締結	平成29年度 開園
1 生涯スポーツ・健康づくりの推進		事業実施年度	
		28年度	29年度
		30年度	
事業主体	市	平成28～30年度の事業費	3,631,639 千円
政策共通認識	☒ 共生社会 ☒ 環境 ☒ 協働 ☒ 生涯学習 ☒ 安全・安心		
地域	☒ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☒ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出		

事業名		事業概要	指標・目標
食育推進計画の推進		・前年度の実施事業を把握し、評価等による計画の進行管理を行います。	指標 計画の進行管理
一般会計			目標 平成28年度 前年度事業評価
政策的事業	継続		
施策のねらい			平成29年度 前年度事業評価
5 食育についての正しい知識の普及		事業実施年度	
		28年度	29年度
		30年度	
事業主体	市	平成28～30年度の事業費	565 千円
政策共通認識	☒ 共生社会 ☒ 環境 ☒ 協働 ☒ 生涯学習 ☐ 安全・安心		
地域	☒ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出		

事業名		事業概要	指標・目標
食育推進事業		- 食に関する地域の関係機関及び関係団体等との連携による食育事業を実施します。 - 国の定めた食育月間（6月）でのイベントを開催します。 - 食育ボランティアの育成研修を開催し、地域活動を支援します。	指標 講座開催数
一般会計			目標 平成28年度 3回
政策的事業	継続	※講座開催数（平成26年度）：3回	
施策のねらい			平成29年度 3回
5 食育についての正しい知識の普及		事業実施年度	
		28年度	29年度
		30年度	
事業主体	市	平成28～30年度の事業費	884 千円
政策共通認識	☒ 共生社会 ☒ 環境 ☒ 協働 ☒ 生涯学習 ☐ 安全・安心		
地域	☒ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出		

事業名		事業概要				指標・目標	
健康増進計画の推進		・前年度の実施事業を把握し、評価等による計画の進行管理を行います。 ・健康増進計画と一体化した歯及び口腔の健康づくり推進計画「健康増進計画（後期）・歯及び口腔の健康づくり推進計画」を策定します。				指標 計画の進行管理	
一般会計						目標	
政策的事業	継続拡充					平成28年度 前年度事業評価及び計画の改訂	
施策のねらい						平成29年度 前年度事業評価	
6 一次予防に重点を置いた健康づくりの推進		事業実施年度	28年度	29年度	30年度	平成30年度 前年度事業評価	
事業主体	市	平成28～30年度の事業費		5,089 千円			
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 ■ 協働 ■ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
健康教育事業		・さまざまな生活習慣病に対して、その専門の知識を有する講師による教室を開催します。 ・各健康普及週間及び健康普及月間にあわせ、講演会及びパネル展示等を実施します。 ・数か月間の個別指導を行う個別健康教育を実施します。 ※教室の開催回数（平成26年度）：85回				指標 教室の開催回数	
一般会計						目標	
政策的事業	継続					平成28年度 88回	
施策のねらい						平成29年度 88回	
6 一次予防に重点を置いた健康づくりの推進		事業実施年度	28年度	29年度	30年度	平成30年度 88回	
事業主体	市	平成28～30年度の事業費		4,414 千円			
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 ■ 協働 ■ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事 業 名		事 業 概 要				指標・目標	
スポーツ振興基本計画の推進		・スポーツ振興基本計画の進行管理を行います。 ・審議会に社会体育関係団体に対する補助金について諮問し、その答申に基づき補助金を交付します。				指標 計画の進行管理	
一般会計						目標 平成28年度 前年度事業評価	
定例・定型的事業	継続					平成29年度 前年度事業評価	
施策のねらい						平成30年度 前年度事業評価	
1 生涯スポーツ・健康づくりの推進						事業実施年度	
		28年度	29年度	30年度			
事業主体	市	平成28～30年度の事業費		412 千円		平成30年度 前年度事業評価	
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 ■ 協働 ■ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

施策目標：1 5

互いが尊重され、あらゆる分野の活動に参画できる社会をつくる

(男女共同参画課)



施策のねらい

1 だれもが社会参画できる環境づくり

すべての人が個人として尊重され、あらゆる人権侵害となる問題の解決と家庭や地域における生活や職場などにおいて、男女が性別にかかわらず、個人の個性と能力を対等に発揮できる男女共同参画社会の実現に向けた環境づくりに取り組みます。

2 国際化に対応した行政サービスの提供と地域交流の支援

国際化の進展に伴い、外国籍市民が、適切に行政サービスを享受し、地域で円滑にコミュニケーションを図ることができるよう、国際化に対応した行政サービスの提供や地域での交流を支援します。

3 都市交流の推進

多くの都市やそこに暮らす人々と交流することにより、異なる環境に暮らす人々の生活や文化を理解し、相互に尊重する心を育てます。

4 平和の尊さの啓発

戦後 60 余年が経過し、戦争の記憶が薄れる中、平和の尊さを啓発する必要性が高まっています。戦争を体験した世代が少なくなる中、「平和のつどい」の開催などを通して、市民に平和の尊さを認識してもらう活動を進めます。



施策目標における3年間の目指すべき方向性

男女共同参画の推進については、「人権が尊重された、男女共同参画社会の形成」を基本理念に平成 28 年度から 32 年度までの5年計画である「第2次ちがさき男女共同参画推進プラン」に基づき、総合計画の5つの政策共通認識のひとつである「共生社会」の実現と合わせ、総合的な取り組みとして推進を図ります。

都市交流事業については、昭和 58 年からゆかりのまち提携を結んでいる愛知県岡崎市との市民交流事業に加え、平成 26 年から長野県佐久市との市民交流事業を実施しています。引き続き、さまざまな分野において発展的な交流の促進を図ります。

平和啓発事業については、戦後 70 年を過ぎ、次世代への継承が難しくなっていくなかで、引き続き平和の大切さについて市民周知を図ります。

指標 施策目標の達成状況を把握する目安となる数値

指標名	現状値	平成 30 年度の目標値	指標の説明・意図
固定的性別役割分担意識	59.3% (平成 26 年度)	59.8%	多様な生き方を認め合う男女共同参画社会の意識の浸透の目安として、「男は仕事、女は家庭」という固定的性別役割分担意識について反対と思う人の割合を指標としました。 固定的性別役割分担意識については、平成 23 年度より「はがきによるアンケート調査」を実施しており、平成 23 年度より若干減少傾向にあるため、23 年度の実績値（59.7%）を上回る目標としました。
男女の地位における平等感	29.5% (平成 26 年度)	34.0%	男女平等の意識の浸透の目安として、社会通念・習慣・しきたりにおいて男女の地位が平等であると思う人の割合を指標としました。 男女の地位が平等であると思う人の割合は、平成 23 年度より「はがきによるアンケート調査」を実施しており、平成 23 年度より若干減少傾向にあるため、23 年度の実績値（33.6%）を上回る目標としました。

第3次実施計画事業一覧表

○ 一般会計

政策的事業	4 件	定例・定型的事業	15 件	事業費（職員給与費除く）	65 百万円
-------	-----	----------	------	--------------	--------

No.	事業の性質	施策のねらい	事業名（★…主な第3次実施計画事業として掲載している事業）	平成28～30年度の事業費
1	政策	1	★「第2次ちがさき男女共同参画推進プラン」の進行管理	1,768 千円
2	政策	1	2市1町人権・男女共同参画連携推進会議	90 千円
3	政策	3	★都市交流事業	1,250 千円
4	政策	4	★平和啓発看板移設事業	2,017 千円
5	定例	1	★女性問題の研究調査及び啓発	465 千円
6	定例	1	人権同和対策に関すること	2,393 千円
7	定例	1	相談事業	17,346 千円
8	定例	1	男女共同参画社会の実現に向けた啓発等推進事業	7,545 千円
9	定例	1	男女共同参画推進センター管理運営	22,664 千円
10	定例	1	男女共同参画推進センター登録団体申請受付及び支援	— 千円
11	定例	1	地域における男女共同参画の推進	— 千円
12	定例	2	国際化に対応した行政サービスの提供	102 千円
13	定例	2	国際化に対応した地域交流の支援	285 千円
14	定例	3	★ゆかりのまち交流事業	1,828 千円
15	定例	4	「平和について」ポスター・作文コンテスト事業	69 千円
16	定例	4	ピーストレイン平和大使広島派遣事業	3,337 千円
17	定例	4	★平和啓発事業	3,622 千円
18	定例	-	災害応急対策活動	— 千円
19	定例	-	庁内共通事務	— 千円

※事業の性質：「政策」…政策的事業・「定例」…定例・定型的事業

主な第3次実施計画事業

事業名		事業概要				指標・目標	
「第2次ちがさき男女共同参画推進プラン」の進行管理		・第2次ちがさき男女共同参画推進プランの進行管理を行います。 ・実施計画における事業の評価を行います。 協議会の開催回数（平成26年度）：8回				指標	
						外部評価の実施及び評価結果の施策等への反映	
						目標	
						平成28年度	
						外部評価：1回・施策への反映	
一般会計						平成29年度	
政策的事業		継続		外部評価：1回・施策への反映			
施策のねらい						平成30年度	
1 だれもが社会参画できる環境づくり						外部評価：1回・施策への反映	
		事業実施年度		28年度	29年度	30年度	
事業主体		市		平成28～30年度の事業費		1,768 千円	
政策共通認識		■ 共生社会 □ 環境 ■ 協働 ■ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域		■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出					

事業名		事業概要				指標・目標	
都市交流事業		・長野県佐久市を訪ねる市民バスツアーを実施します。 ・茅ヶ崎マカナ・フラ・フェスティバルを実施します。 市民バスツアーに参加した人の人数（平成26年度）：12人				指標 市民バスツアーに参加した人の人数	
一般会計						目標 平成28年度 15人	
政策的事業	継続					平成29年度 15人	
施策のねらい						平成30年度 15人	
3 都市交流の推進						平成30年度 15人	
		事業実施年度	28年度	29年度	30年度		
事業主体	市	平成28～30年度の事業費		1,250 千円			
政策共通認識		■ 共生社会 □ 環境 ■ 協働 ■ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
平和啓発看板移設事業		・茅ヶ崎駅南口駅前広場再整備事業に伴い「平和都市宣言」「核兵器平和都市宣言」「交通安全都市宣言」の看板をリニューアルします。 ・リニューアルに際しては、景観に配慮した看板を設置します。				指標 設置時期	
一般会計						目標	
政策的事業						平成28年度	
新規						-	
施策のねらい						平成29年度	
4 平和の尊さの啓発						30年3月	
		事業実施年度			29年度		
事業主体		市		平成28～30年度の事業費		2,017 千円	
政策共通認識		■ 共生社会 □ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 □ 安全・安心				平成30年度	
地域		■ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 ■ 全市 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出				-	

事業名		事業概要				指標・目標	
女性問題の研究調査及び啓発		・はがきによる男女共同参画に関するアンケート調査の継続的な実施と結果の公表を行います。 ・情報コーナーの図書・資料の充実に向けた資料収集を行います。 ・情報紙を発行します。 ※情報紙発行回数（平成26年度）：2回				指標 情報紙発行回数	
一般会計						目標 平成28年度 2回	
定例・定型の事業	継続					平成29年度 2回	
施策のねらい						平成30年度 2回	
1 だれもが社会参画できる環境づくり		事業実施年度	28年度	29年度	30年度	平成30年度 2回	
事業主体	市	平成28～30年度の事業費		465 千円			
政策共通認識		■ 共生社会 □ 環境 ■ 協働 ■ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事 業 名		事 業 概 要				指標・目標					
ゆかりのまち交流事業		・愛知県岡崎市との幅広い分野での交流事業を推進します。 ※交流事業実施回数（平成26年度）：2回 <table><tr><td>事業実施年度</td><td>28年度</td><td>29年度</td><td>30年度</td></tr></table>				事業実施年度	28年度	29年度	30年度	指標 交流事業実施回数	
事業実施年度	28年度					29年度	30年度				
一般会計						目標 平成28年度 2回					
定例・定型的事業	継続					平成29年度 2回					
施策のねらい						平成30年度 2回					
3 都市交流の推進		平成30年度 2回									
事業主体	市	平成28～30年度の事業費		1,828 千円		平成30年度 2回					
政策共通認識		■ 共生社会 □ 環境 □ 協働 ■ 生涯学習 □ 安全・安心									
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出										

事業名		事業概要				指標・目標	
平和啓発事業		・市の平和事業の委託先である「平和を考える茅ヶ崎市民の会実行委員会」と連携し、「平和のつどい」の開催や「平和都市宣言」「茅ヶ崎市核兵器廃絶平和都市宣言」横断幕・懸垂幕の掲出、実行委員会による各種講演会、展示会など平和啓発事業を実施します。 ※平和に関する展示会等イベントの開催数（平成26年度）：4回				指標 平和に関する展示会等イベントの開催数	
一般会計						目標 平成28年度 4回	
定例・定型的事業	継続					平成29年度 4回	
施策のねらい						平成30年度 4回	
4 平和の尊さの啓発		事業実施年度	28年度	29年度	30年度	平成30年度 4回	
事業主体	市	平成28～30年度の事業費	3,622 千円				
政策共通認識		■ 共生社会 □ 環境 ■ 協働 ■ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

